

目次

科目名	科目区分	教員氏名	頁
日本概論 1 <薬>	共通教養科目	戸井田 克己	1
日本概論 2 <薬>	共通教養科目	岡田 昌彰	4
日本概論 3 <薬>	共通教養科目	平林 一成	8
日本概論 4 <薬>	共通教養科目	平林 一成	11
日本語リサーチメソッド1 <薬>	外国語科目	笠松 瑞子	14
日本語読解 1 <薬>	外国語科目	森久 国雄	17
日本語読解 2 <薬>	外国語科目	森久 国雄	20
日本語アカデミックリーディング 1 <薬>	外国語科目	木津 可奈子	23
日本語作文 3 <薬>	外国語科目	川淵 節子	26
日本語読解 4 <薬>	外国語科目	藤井 和子	29
日本語会話 1 <薬>	外国語科目	野村 由香里	32
日本語会話 2 <薬>	外国語科目	野村 由香里	35
日本語会話 4 <薬>	外国語科目	笠松 瑞子	38
日本語リサーチメソッド2 <薬>	外国語科目	笠松 瑞子	41
日本語アカデミックリーディング 2 <薬>	外国語科目	木津 可奈子	44
日本語作文 4 <薬>	外国語科目	川淵 節子	47
初修英語基礎1 <薬>	外国語科目	溝上 瑛梨	50
初修英語基礎2 <薬>	外国語科目	溝上 瑛梨	54
日本語プレゼンテーション1 <薬 >	外国語科目	野村 由香里	58
日本語プレゼンテーション2 <薬 >	外国語科目	野村 由香里	61
日本語作文 1 <薬>	外国語科目	清水 優子	64
日本語作文 2 <薬>	外国語科目	清水 優子	67
日本語読解 3 <薬>	外国語科目	藤井 和子	70
能力試験対策1 <薬> (平成27～ 令和元年度入学生用)	外国語科目	藤井 和子	73
能力試験対策2 <薬> (平成27～ 令和元年度入学生用)	外国語科目	藤井 和子	76
初修英語コミュニケーション1 <薬 >	外国語科目	有本 好一郎	79
初修英語コミュニケーション2 <薬 >	外国語科目	有本 好一郎	82
日本語会話 3 <薬>	外国語科目	笠松 瑞子	85
プロジェクトワーク1 <薬> (令 和2～3年度入学生用)	外国語科目	河崎 絵美	88
プロジェクトワーク2 <薬> (令 和2～3年度入学生用)	外国語科目	原澤 尚輝	92

科目名 :	日本概論 1 <薬>				
英文名 :	General Studies on Japan 1				
担当者 :	戸井田 克己				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

この科目は留学生を対象にするものです。

この科目では、地理学と民俗学をベースに、日本列島各地の自然と風土を文化論的に解説します。資料映像を多く用い、視覚的な理解を図ります。

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 学習・教育目標及び到達目標

留学生諸君にとっての異文化・異地域である「日本」について、地理的、歴史的、文化的、そして民俗的な特色を知ることによって、日本での留学生活の一助となることをめざします。

この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること」の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

中間テスト 40%

期末レポート 40%

授業への参加 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

模範答案をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784807162062 『楽しく学ぶ小学生の地図帳—家庭学習用』（帝国書院）

必ず購入し、各回の授業に持参してください。

■ 参考文献

授業を通じて指示します。

■ 関連科目

日本概論 2

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

18号館（北館）5階

toida@socio.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

前期：水曜日4限

後期：水曜日4限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション／予備調査

予習内容：シラバスの内容理解

予習時間：30分

復習内容：講義内容のふりかえり

復習時間：30分

第2回 日本の諸地域①—47都道府県と8地方区分—

予習内容：日本の地方区分のしかたに関する下調べ

予習時間：60分

復習内容：講義内容のふりかえり

復習時間：60分

第3回 日本の諸地域②—東日本と西日本—

予習内容：東日本と西日本の相違に関する下調べ

予習時間：60分

復習内容：講義内容のふりかえり

復習時間：60分

第4回 日本の諸地域③—表日本と裏日本—

予習内容：表日本と裏日本の相違に関する下調べ

予習時間：60分

復習内容：講義内容のふりかえり

復習時間：60分

第5回 日本の自然と風土①—対馬暖流の特性—

予習内容：日本を取り巻く海流に関する下調べ

予習時間：60分

復習内容：講義内容のふりかえり

復習時間：60分

第6回 日本の自然と風土②—離島—

予習内容：日本の領域と離島に関する下調べ

予習時間：60分

復習内容：講義内容のふりかえり

復習時間：60分

第7回 日本の自然と風土③—里山—

予習内容：里山の意義と役割に関する下調べ

予習時間：60分

復習内容：講義内容のふりかえり

復習時間：60分

第8回 日本の自然と風土④—稲作文化—

予習内容：稲作の気候条件に関する下調べ

予習時間：500分

復習内容：講義内容のふりかえり

復習時間：100分

第9回 中間テスト

予習内容：試験準備

予習時間：60分

復習内容：試験内容に関するふりかえり

復習時間：60分

第10回 日本人はるかな旅①—マンモスハンター シベリアからの旅立—

予習内容：シベリアの自然環境に関する下調べ

予習時間：60分

復習内容：講義内容のふりかえり

復習時間：60分

第11回 日本人はるかな旅②—巨大噴火に消えた黒潮の民—

予習内容：黒潮に関する下調べ

予習時間：60分
復習内容：講義内容のふりかえり
復習時間：60分

第12回 日本人はるかな旅③—海が育てた森の王国—

予習内容：縄文文化に関する下調べ
予習時間：60分
復習内容：授業内容のふりかえり
復習時間：60分

第13回 日本人はるかな旅④—イネ 知られざる1万年の旅—

予習内容：弥生文化に関する下調べ
予習時間：60分
復習内容：授業内容のふりかえり
復習時間：60分

第14回 日本人はるかな旅⑤—そして“日本人”が生まれた—

予習内容：日本人はるかな旅①～④に関するふりかえり
予習時間：60分
復習内容：授業内容のふりかえり
復習時間：60分

第15回 まとめとふりかえり

予習内容：第1回～第14回に関するふりかえり
予習時間：60分
復習内容：授業内容のふりかえり
復習時間：120分

定期試験

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	日本概論 2 <薬>				
英文名 :	General Studies on Japan 2				
担当者 :	岡田 昌彰				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					
必修選択の別 :	選択科目				

■ 授業概要・方法等

日本に滞在してまもない留学生を対象に、日本の都市の特徴ならびに国土づくりの歴史と現況を概観し、その中から日本ならではの自然観や風土の特徴を理解する。言うまでもないが、近畿大学は「大阪」という世界レベルの現代的大都市の中にあり、一方では京都・奈良・和歌山・滋賀といった日本文化の本質を理解する上できわめて有利な歴史的都市の近傍に立地している。このような様々な「歴史の層」の重層する近畿地方を理解することは、日本の国土、ひいては日本文化そのものを理解することを意味すると言っても過言ではない。

受講生諸君には、このような大学にて留学生として勉学に励むことの大きなアドバンテージをフル活用するとともに、日本人が築いてきた国土の姿やその風合いの中に日本文化の特徴を見出し、その本質を深く理解してもらいたい。

また、実際に現地（近畿地区内）に足を運び、座学で得られた知識を現場にて体得する機会を作ることとしたい。

この講義では、複数のテーマから関心のあるものを参加学生が選択し、それについて調査研究を実施のうえプレゼンテーションを行う。これに基づいてディスカッションを行う。

対面授業とメディア授業等の併用

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 学習・教育目標及び到達目標

日本の国土の成り立ちおよび文化の基本的理解。

この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること」の達成に關与している。

■ 成績評価方法および基準

プレゼンテーションならびにレジュメ 80%

レポート 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

授業時間内にコメントと総評を行います。

■ 教科書

レジュメ配布

■ 参考文献

[ISBN]9784306092884 『物語日本の土木史：大地を築いた男たち』（長尾義三, 鹿島出版会）

■ 関連科目

日本概論1

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

■ オフィスアワー

適宜（事前にメールを送って下さい）

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

受講生は複数の設定テーマから関心のあるものを選択し、それに基づいてプレゼンテーションを行う。これをテーマとしてディスカッションを行う。なお、プレゼンテーションに際しては予め関連する現地に足を運び、現地で学生自身が撮影した写真をもとに実施するものとする。

なお、インターネットのコピー&ペーストは成果として認められないので十分に注意されたい。

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

第1回 ガイダンス

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

授業の進め方やプレゼンテーションの方法について説明する。

第2回 プレゼンテーションとディスカッション

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

担当学生がプレゼンテーションを行い、その内容について全員でディスカッションを行う。

第3回 プレゼンテーションとディスカッション

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

担当学生がプレゼンテーションを行い、その内容について全員でディスカッションを行う。

第4回 プレゼンテーションとディスカッション

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

担当学生がプレゼンテーションを行い、その内容について全員でディスカッションを行う。

第5回 プレゼンテーションとディスカッション

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

担当学生がプレゼンテーションを行い、その内容について全員でディスカッションを行う。

第6回 プレゼンテーションとディスカッション

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

担当学生がプレゼンテーションを行い、その内容について全員でディスカッションを行う。

第7回 プレゼンテーションとディスカッション

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

担当学生がプレゼンテーションを行い、その内容について全員でディスカッションを行う。

第8回 プレゼンテーションとディスカッション

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

担当学生がプレゼンテーションを行い、その内容について全員でディスカッションを行う。

第9回 プレゼンテーションとディスカッション

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

担当学生がプレゼンテーションを行い、その内容について全員でディスカッションを行う。

第10回 プレゼンテーションとディスカッション

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

担当学生がプレゼンテーションを行い、その内容について全員でディスカッションを行う。

第11回 プレゼンテーションとディスカッション

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

担当学生がプレゼンテーションを行い、その内容について全員でディスカッションを行う。

第12回 プレゼンテーションとディスカッション

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

担当学生がプレゼンテーションを行い、その内容について全員でディスカッションを行う。

第13回 プレゼンテーションとディスカッション

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

担当学生がプレゼンテーションを行い、その内容について全員でディスカッションを行う。

第14回 プレゼンテーションとディスカッション

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

担当学生がプレゼンテーションを行い、その内容について全員でディスカッションを行う。

第15回 プレゼンテーションとディスカッション

予習内容：課題に関する「現地調査」と「文献調査」（単なるインターネットの引用は不可）

予習時間：90分

復習内容：ディスカッション関連内容の追加調査

復習時間：90分

担当学生がプレゼンテーションを行い、その内容について全員でディスカッションを行う。

実施しない

実施しない

■ ホームページ

景観工学研究室 <http://techno-scape.com/>

■実践的な教育内容

-

科目名 :	日本概論3 <薬>				
英文名 :	General Studies on Japan 3				
担当者 :	平林 一成				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	前期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

日本文化には、アニメ、コミック、映画、テレビドラマ、文学、古典芸能（能や歌舞伎）など、さまざまなジャンルがあります。

そして、これらの異なるジャンルが互いに深く影響しあうことによって、日本文化は革新的な表現を生み出してきました。

たとえば、『GHOST IN THE SHELL 攻殻機動隊』の続編である『イノセンス』は、未来の世界を舞台としたSFアニメですが、作品の中では世阿弥（ぜあみ、古典芸能の1つである能を飛躍的に発展させた室町時代の人物）の言葉が何度も引用されてテーマを語ります。

また、実写版『宇宙戦艦ヤマト SPACE BATTLESHIP YAMATO』では、戦闘機が空中で静止状態になることがありますが、これは古典芸能の歌舞伎の見得（みえ）を応用したものです。

本講義「日本概論3」（前期、留学生対象）では、以上のような興味深い例を中心に、さまざまなジャンルの作品を取り上げ、日本文化の全体像を描き出していきます。

なお、この「日本概論3」（前期）は、「日本概論4」（後期）とセットになっており、両方を受講することが望ましいのですが、いずれか一方だけでも登録は可能ですので、「授業計画の内容」を参考にして履修プランを組み立ててみてください。

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 学習・教育目標及び到達目標

“日本語の文章を読むこと”と“古典芸能からアニメに至るまで、多種多様な映像を鑑賞すること”の2つを通じて、日本文化への理解を深めるとともに、自国の文化を見つめ直す。

なお、この科目の履修は近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4.異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を身に付けていること」の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

ミニツツペーパー（提出方法等については講義にて説明） 50%

発表（自分の考えや意見を述べる）。第13・14・15回目のいずれかを選び、前期中に1人1回発表すること 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートの総評をUNIVERSAL PASSPORTに掲載。

■ 教科書

毎回、レジュメを配布。

■ 参考文献

講義中に指示。

■ 関連科目

日本概論4（後期）

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠。

■ 研究室・メールアドレス

研究室：18号館南棟3階平林研究室
メールアドレス：k-hirabayashi@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

教場にて指示。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス

予習内容：シラバスを読んでおくこと。

予習時間：60分

復習内容：講義の全体像を理解。

復習時間：60分

第2回 前提となること。

予習内容：ガイダンスを踏まえつつ、シラバスの「授業計画の内容」を把握しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：受講に際して前提となる事項を確認。

復習時間：60分

第3回 『さらば宇宙戦艦ヤマト 愛の戦士たち』（1978）など：シナリオを読み、映像を鑑賞する。

予習内容：『宇宙戦艦ヤマト』について調べ、予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：文字情報（シナリオ）がどのように映像化されていくかを考察。

復習時間：60分

第4回 『機動戦士ガンダムⅢ めぐりあい宇宙』（1982）など：シナリオを読み、映像を鑑賞する。

予習内容：『機動戦士ガンダム』について調べ、予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：文字情報（シナリオ）がどのように映像化されていくかを考察。

復習時間：60分

第5回 夏目漱石（なつめそうせき）の『夢十夜』（ゆめじゅうや）と、映画『ユメ十夜』

予習内容：夏目漱石『夢十夜』について調べ、予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：夢をめぐる小説や映像作品についての理解を深める。

復習時間：60分

第6回 岡本かの子「鮎」（すし）／小野二郎（おのじろう）のドキュメンタリー

予習内容：日本を代表する食文化である「すし」（漢字表記は「鮎」「寿司」など）について調べ、予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：「すし」に関する認識を深める。

復習時間：60分

第7回 味覚の映像表現：『美味しんぼ』（おいしんぼ）・『ミスター味っ子』（ミスターあじっこ）・『食戟のソーマ』（しょくげきのソーマ）

予習内容：アニメ『美味しんぼ』『ミスター味っ子』『食戟のソーマ』について調べ、予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：味覚の映像表現に関する考察を深める。

復習時間：60分

第8回 日本の教育問題：テレビドラマ『女王の教室』（1）

予習内容：テレビドラマ『女王の教室』について調べ、予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：「ゆとり教育」についての考察を深める。

復習時間：60分

第9回 日本の教育問題：テレビドラマ『女王の教室』（2）

予習内容：テレビドラマ『女王の教室』及び「ゆとり教育」について予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：『女王の教室』のテーマについて、自身の経験に照らして考察。

復習時間：60分

第10回 SFアニメ『イノセンス』と世阿弥（ぜあみ）の『花鏡』（かきょう）をめぐって（1）

予習内容：SFアニメ『攻殻機動隊』『イノセンス』、及び、古典芸能の能について調べ、予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：講義で扱った世阿弥の演劇理論について考察を深める。

復習時間：60分

第11回 SFアニメ『イノセンス』と世阿弥（ぜあみ）の『花鏡』（かきょう）をめぐって（2）

予習内容：SFアニメ『攻殻機動隊』と『イノセンス』について調べ、予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：『イノセンス』のテーマについて考察を深める。

復習時間：60分

第12回 歌舞伎の可能性：実写版『宇宙戦艦ヤマト SPACE BATTLESHIP YAMATO』と『L I F E！～人生に捧げるコント～』における「ナツキと歌舞伎」

予習内容：古典芸能の歌舞伎について調べ、予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：歌舞伎の「見得」（みえ）について考察を深める。

復習時間：60分

第13回 発表（自分の考えや意見を述べる）。第13・14・15回目のいずれかを選び、前期中に1人1回発表すること。

予習内容：発表者は、講義で特に興味をもったことについて考え、自分の意見をまとめておく。

予習時間：60分

復習内容：自分の発表が終わったあとも、他の発表をよく聞き、様々な考えに触れる。

復習時間：60分

第14回 発表（自分の考えや意見を述べる）。第13・14・15回目のいずれかを選び、前期中に1人1回発表すること。

予習内容：発表者は、講義で特に興味をもったことについて考え、自分の意見をまとめておく。

予習時間：60分

復習内容：自分の発表が終わったあとも、他の発表をよく聞き、様々な考えに触れる。

復習時間：60分

第15回 発表（自分の考えや意見を述べる）。第13・14・15回目のいずれかを選び、前期中に1人1回発表すること。

予習内容：発表者は、講義で特に興味をもったことについて考え、自分の意見をまとめておく。

予習時間：60分

復習内容：自分の発表が終わったあとも、他の発表をよく聞き、様々な考えに触れる。

復習時間：60分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	日本概論 4 <薬>						
英文名 :	General Studies on Japan 4						
担当者 :	平林 一成						
開講学科 :	外国人特例科目						
単 位 :	2単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	共通教養科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

日本文化には、アニメ、コミック、映画、テレビドラマ、文学、古典芸能（能や狂言、歌舞伎）など、さまざまなジャンルがあります。

そして、これらの異なるジャンルが互いに深く影響しあうことによって、日本文化は革新的な表現を生み出してきました。

たとえば、河森正治（かわもりしょうじ）が総監督を務めた『マクロスF（TV版）』は、未来の宇宙移民船団を舞台としたSFアニメですが、主人公である戦闘機のパイロットは、世阿弥（ぜあみ、古典芸能の1つである能を飛躍的に発展させた室町時代の人物）の演劇理論を踏まえたセリフをつぶやきながら、決戦の場へと突入していきます。

また、『ルパン三世』セカンド・シーズンの第55話・56話では、登場人物が歌舞伎の演目の1つである『白浪五人男』（しらなみごにんおとこ）の登場人物になりきってセリフを述べ、見得（みえ）をきります。

本講義「日本概論4」（後期、留学生対象）では、以上のような興味深い例を中心に、さまざまなジャンルの作品を取り上げ、日本文化の全体像を描き出していきます。

なお、この「日本概論4」（後期）は、「日本概論3」（前期）とセットになっており、両方を受講することが望ましいのですが、いずれか一方だけでも登録は可能ですので、「授業計画の内容」を参考にして履修プランを組み立ててみてください。

対面授業とメディア授業等の併用

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 学習・教育目標及び到達目標

“日本語の文章を読むこと”と“古典芸能からアニメに至るまで、多種多様な映像を鑑賞すること”の2つを通じて、日本文化への理解を深めるとともに、自国の文化を見つめ直す。

なお、この科目の履修は近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4.異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を身に付けていること」の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

ミニツツペーパー（提出方法等については講義にて説明） 50%

発表（自分の考えや意見を述べる）。第13・14・15回目のいずれかを選び、後期中に1人1回発表すること 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポートの総評をUNIVERSAL PASSPORTに掲載。

■ 教科書

毎回、レジュメを配布。

■ 参考文献

講義中に指示。

■ 関連科目

日本概論3（前期）

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠。

■研究室・メールアドレス

研究室：18号館南棟3階平林研究室

メールアドレス：k-hirabayashi@kindai.ac.jp

■オフィスアワー

教場にて指示。

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス

予習内容：シラバスを読んでおくこと。

予習時間：60分

復習内容：講義の全体像を理解。

復習時間：60分

第2回 前提となること。

予習内容：ガイダンスを踏まえつつ、シラバスの「授業計画の内容」を把握しておくこと。

予習時間：60分

復習内容：受講に際して前提となる事項を確認。

復習時間：60分

第3回 『新劇場版 エヴァンゲリオン 序』：シナリオを読み、映像を鑑賞する。

予習内容：『新劇場版 エヴァンゲリオン 序』について調べ、予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：文字情報（シナリオ）がどのように映像化されていくかを考察。

復習時間：60分

第4回 芸能奉納（げいのうほうのう）：春日若宮御祭（かすがわかみやおんまつり）。

予習内容：1136年から始まった春日若宮御祭（かすがわかみやおんまつり）について調べ、予備知識を得ておく

予習時間：60分

復習内容：春日若宮御祭（かすがわかみやおんまつり）について考察を深める。

復習時間：60分

第5回 出崎統（でざきおさむ）のアニメ『源氏物語千年紀 Genji』

予習内容：『源氏物語』の「車争い」（くるまあらそい）と「六条御息所」（ろくじょうのみやすどころ）について調べ、予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：『源氏物語』の映像化について考察を深める。

復習時間：60分

第6回 アニメ『マクロスF』と世阿弥（ぜあみ）の『風姿花伝』（ふうしかでん）その1

予習内容：マクロスシリーズ、および、古典芸能の能（のう）や世阿弥（ぜあみ）について調べ、予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：マクロスシリーズと古典芸能について考察を深める。

復習時間：60分

第7回 アニメ『マクロスF』と世阿弥（ぜあみ）の『風姿花伝』（ふうしかでん）その2

予習内容：前回（第6回）の講義で配付した世阿弥（ぜあみ）の『風姿花伝』（ふうしかでん）を読んでおく。

予習時間：60分

復習内容：TV版『マクロスF』において、世阿弥（ぜあみ）の『風姿花伝』（ふうしかでん）がどのように利用されたかを考察する。

復習時間：60分

第8回 アニメ『マクロスF』と世阿弥（ぜあみ）の『風姿花伝』（ふうしかでん）その3

予習内容：劇場版『マクロスF サヨナラノツバサ』について調べ、予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：これまでの講義の内容を振り返り、考察を深める。

復習時間：60分

第9回 『ゴジラ』（1954）

予習内容：ゴジラシリーズの第1作である『ゴジラ』（1954）について予備知識を得ておく。

予習時間：60分

復習内容：ゴジラがどのように演じられたか、理解を深める。

復習時間：60分

第10回 『シン・ゴジラ』(2016)と野村萬斎(のむらまんさい)

予習内容：古典芸能の狂言(きょうげん)および野村萬斎(のむらまんさい)について調べ、予備知識を得る。

予習時間：60分

復習内容：野村萬斎(のむらまんさい)がどのようにゴジラを演じたか、理解を深める。

復習時間：60分

第11回 歌舞伎『白浪五人男』(しらなみごにんおとこ)と『ルパン三世』セカンドシーズン第55・56話

予習内容：『ルパン三世』について調べ、予備知識を得る。

予習時間：60分

復習内容：歌舞伎『白浪五人男』(しらなみごにんおとこ)が『ルパン三世』セカンドシーズン第55・56話においてどのように生かされているかを確認する。

復習時間：60分

第12回 歌舞伎『白浪五人男』(しらなみごにんおとこ)と『秘密戦隊ゴレンジャー』

予習内容：『秘密戦隊ゴレンジャー』について調べ、予備知識を得る。

予習時間：60分

復習内容：歌舞伎『白浪五人男』(しらなみごにんおとこ)が『秘密戦隊ゴレンジャー』においてどのように生かされているかを確認する。

復習時間：60分

第13回 発表(自分の考えや意見を述べる)。第13・14・15回目のいずれかを選び、後期中に1人1回発表すること。

予習内容：発表者は、講義で特に興味をもったことについて考え、自分の意見をまとめておく。

予習時間：60分

復習内容：自分の発表が終わったあとも、他の発表をよく聞き、様々な考えに触れる。

復習時間：60分

第14回 発表(自分の考えや意見を述べる)。第13・14・15回目のいずれかを選び、後期中に1人1回発表すること。

予習内容：発表者は、講義で特に興味をもったことについて考え、自分の意見をまとめておく。

予習時間：60分

復習内容：自分の発表が終わったあとも、他の発表をよく聞き、様々な考えに触れる。

復習時間：60分

第15回 発表(自分の考えや意見を述べる)。第13・14・15回目のいずれかを選び、後期中に1人1回発表すること。

予習内容：発表者は、講義で特に興味をもったことについて考え、自分の意見をまとめておく。

予習時間：60分

復習内容：自分の発表が終わったあとも、他の発表をよく聞き、様々な考えに触れる。

復習時間：60分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語リサーチメソッド1 <薬>				
英文名 :	Reseach Method in Japanese 1				
担当者 :	笠松 瑞子				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

留学生の中には、与えられた課題にはきちんと取り組めるものの、自らテーマを探して研究をすることが不得手な学生が多い。そこで、日本語リサーチメソッド1・2では、自ら研究を進めていくプロセスを学ぶ。また、口頭発表など日本語によるプレゼンテーションの技術を身につけることも目的としている。グループワークもあるため、参加者は授業に積極的に参加することが望まれる。また、教材の説明文には難しい漢字や表現があるため、N1レベル以上の日本語力を有する者の受講が望ましい。(学生の人数・レベルによっては、各回の授業予定内容は変更されることもある。)

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 学習・教育目標及び到達目標

論文を書くための技術を学ぶ

この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4.異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身につけていること」の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

授業中課題等 60%

最終レポート 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

次回の授業時にフィードバックします。

■ 教科書

適宜プリントを配布する

■ 参考文献

[ISBN]9784893589606 『実践 研究計画作成法 情報収集からプレゼンテーションまで』(独立行政法人日本学生支援機構, 凡人社: 2019)

[ISBN]9784874246184 『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』(田中 真理, くろしお出版: 2014)

■ 関連科目

日本語リサーチメソッド2

作文3・4を終えていることが望ましい。

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

kasamatsu@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業終了後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション / 1課：印象に残る自己紹介①

予習内容：シラバスを熟読してきてください。

予習時間：30分

復習内容：学習した内容をまとめておいてください。

復習時間：60分

第2回 1課：印象に残るスピーチ②（発表）

予習内容：発表の準備をしておいてください。

予習時間：60分

復習内容：印象に残るスピーチをするにはどうしたらよいか、まとめてください。

復習時間：30分

第3回 2課：ワードの使い方①

予習内容：ワードの使い方を予習しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：ワードの使い方について復習しておいてください。

復習時間：60分

第4回 2課：ワードの使い方②（フィードバック）

予習内容：ワードで自分が使えない機能は何か考えておいてください。

予習時間：30分

復習内容：ワードの使い方について復習しておいてください。

復習時間：60分

第5回 3課：論文の文章①

予習内容：書き言葉と話し言葉の違いについて考えてきてください。

予習時間：30分

復習内容：論文で使ってはいけない表現について復習しておいてください。

復習時間：60分

第6回 3課：論文の文章②（フィードバック）

予習内容：論文で使ってはいけない表現にはどんな表現があるか考えてきてください。

予習時間：30分

復習内容：論文で使ってはいけない表現についてまとめておいてください。

復習時間：60分

第7回 4課：客観的な説明①

予習内容：配布された資料に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：客観的に描く方法について復習しておいてください。

復習時間：60分

第8回 4課：客観的な説明②（発表）

予習内容：何を説明するのか考え、発表の準備をしてきてください。

予習時間：60分

復習内容：発表について、よかった点や改善点などを振り返り確認してください。

復習時間：30分

第9回 5課：グラフ・データの表現①

予習内容：グラフ・データの表現には、どんなものがあるか考えておいてください。

予習時間：30分

復習内容：グラフ・データの表現を復習しておいてください。

復習時間：60分

第10回 5課：グラフ・データの表現②（発表）

予習内容：発表の準備をしておいてください。

予習時間：60分

復習内容：発表について、よかった点や改善点などを振り返り確認してください。

復習時間：30分

第11回 6課：アンケート調査①

予習内容：何についてアンケートするのか考えておいてください。

予習時間：60分

復習内容：どんなアンケートがよいアンケートなのか復習しておいてください。

復習時間：30分

第12回 6課：アンケート調査②

予習内容：アンケートの方法を考えておいてください。

予習時間：60分

復習内容：アンケート調査発表の内容について復習しておいてください。

復習時間：30分

第13回 6課：アンケート調査③（発表1）

予習内容：発表の準備をしておいてください。

予習時間：60分

復習内容：発表について、よかった点や改善点などを振り返り確認してください。

復習時間：30分

第14回 6課：アンケート調査④（発表2）

予習内容：発表の準備をしておいてください。

予習時間：60分

復習内容：発表について、よかった点や改善点などを振り返り確認してください。

復習時間：30分

第15回 総復習(論文の文章・客観的な説明・グラフの説明・アンケート調査)

予習内容：配布された資料に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：これまでに学習した内容を確認しておいてください。

復習時間：60分

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語読解 1 <薬>				
英文名 :	Japanese Reading Comprehension 1				
担当者 :	森久 国雄				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

大学に入って間もない留学生にとって、日本語で書かれた学術的な文章に慣れることは急務である。この授業は、大学でのあらゆる勉学の基礎となる読解力を養成、向上させることを目的とする。毎回プリントを配布し、読解の実践トレーニングを行なっていく。その際、学術的な文章を読み解いていく上でのポイントやコツを提示するので、それらを十分に体得し、諸分野の文章にチャレンジして欲しい。

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 学習・教育目標及び到達目標

比較的理解しやすい学術的文章の読解に慣れ、それらの文章の「型」が把握できるようになること。

この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること」の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 60%

各回の課題 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■ 教科書

プリントを配布

■ 参考文献

[ISBN]9784757419292 『上級学習者のための日本語読解ワークブック：試験に強くなる!』（目黒真実, アルク）

■ 関連科目

日本語読解2

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

初回授業時に指示します。

■ オフィスアワー

授業終了後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス

予習内容：シラバスを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：自己紹介シートを作成する。

復習時間：30分

第2回 読解演習①

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読む。

予習時間：60分

復習内容：本文を再度精読し、主題を自分の言葉でまとめる。口述問題を記述してみる。

復習時間：60分

第3回 読解演習②

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読む。

予習時間：60分

復習内容：本文を再度精読し、主題を自分の言葉でまとめる。口述問題を記述してみる。

復習時間：60分

第4回 読解演習③

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読む。

予習時間：60分

復習内容：本文を再度精読し、主題を自分の言葉でまとめる。口述問題を記述してみる。

復習時間：60分

第5回 読解演習④

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読む。

予習時間：60分

復習内容：本文を再度精読し、主題を自分の言葉でまとめる。口述問題を記述してみる。

復習時間：60分

第6回 読解演習⑤

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読む。

予習時間：60分

復習内容：本文を再度精読し、主題を自分の言葉でまとめる。口述問題を記述してみる。

復習時間：60分

第7回 読解演習⑥

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読む。

予習時間：60分

復習内容：本文を再度精読し、主題を自分の言葉でまとめる。口述問題を記述してみる。

復習時間：60分

第8回 読解演習⑦

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読む。

予習時間：60分

復習内容：本文を再度精読し、主題を自分の言葉でまとめる。口述問題を記述してみる。

復習時間：60分

第9回 読解演習⑧

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読む。

予習時間：60分

復習内容：本文を再度精読し、主題を自分の言葉でまとめる。口述問題を記述してみる。

復習時間：60分

第10回 読解演習⑨

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読む。

予習時間：60分

復習内容：本文を再度精読し、主題を自分の言葉でまとめる。口述問題を記述してみる。

復習時間：60分

第11回 読解演習⑩

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読む。

予習時間：60分

復習内容：本文を再度精読し、主題を自分の言葉でまとめる。口述問題を記述してみる。

復習時間：60分

第12回 読解演習⑪

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読む。

予習時間：60分

復習内容：本文を再度精読し、主題を自分の言葉でまとめる。口述問題を記述してみる。

復習時間：60分

第13回 読解演習⑫

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読む。

予習時間：60分

復習内容：本文を再度精読し、主題を自分の言葉でまとめる。口述問題を記述してみる。

復習時間：60分

第14回 読解演習⑬

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、時代背景・文化などを理解しながら、本文を読む。

予習時間：60分

復習内容：本文を再度精読し、主題を自分の言葉でまとめる。口述問題を記述してみる。

復習時間：60分

第15回 まとめ

予習内容：これまで授業で読んできた文章を再度読み返す。

予習時間：60分

復習内容：今回の授業で触れた事柄を十分に理解した上で、定期試験の対策を行う。

復習時間：120分

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語読解 2 <薬>				
英文名 :	Japanese Reading Comprehension 2				
担当者 :	森久 国雄				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					
必修選択の別 :	選択科目				

■ 授業概要・方法等

複数の分野・ジャンルの文章を読んでいく。その実践を通して、日本語の表現スタイルの多様性に対する認識を深め、日本語の文章を読む楽しさを共有したい。具体的に何を読むかの最終決定にあたっては、受講生の関心事や希望も考慮に入れる。また、日常の読書生活の中で気に入った文章について発表してもらい機会も設ける予定である。

対面授業とメディア授業等の併用

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 学習・教育目標及び到達目標

日本語で書かれた文章に意欲的にチャレンジし、それらを適切に読み解き、さらに自分の意見が発表できるようになること。この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること」の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 60%
各回の課題 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■ 教科書

プリントを配布

■ 参考文献

必要に応じて紹介する。

■ 関連科目

日本語読解 1

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

初回授業時に指示します。

■ オフィスアワー

授業終了後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容及び時間

第1回 ガイダンス

予習内容：シラバスを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：自己紹介シートを作成する。

復習時間：30分

第2回 エッセイ

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、エッセイ特有の表現スタイルに注意しながら文章を読む。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第3回 新聞記事

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、新聞記事特有の表現スタイルに注意しながら文章を読む。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第4回 対談

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、対談特有の表現スタイルに注意しながら文章を読む。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第5回 ルポ

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、ルポ特有の表現スタイルに注意しながら文章を読む。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第6回 評論文

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、翻訳文特有の表現スタイルに注意しながら文章を読む。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第7回 シナリオ

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、シナリオ特有の表現スタイルに注意しながら文章を読む。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第8回 漫画作品の表現

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、漫画作品特有の表現スタイルに注意しながら作品を読む。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第9回 短編小説①

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、小説特有の表現スタイルに注意しながら文章を読む。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第10回 短編小説②

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、小説特有の表現スタイルに注意しながら文章を読む。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第11回 詩を味わう

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、詩特有の表現スタイルに注意しながら作品を読む。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第12回 俳句を味わう

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、俳句・川柳特有の表現スタイルに注意しながら作品を読む。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第13回 受講生の発表①

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、表現スタイルに注意しながら文章を読む。

予習時間：60分

復習内容：発表者による説明や他の受講生から出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第14回 受講生の発表②

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、表現スタイルに注意しながら文章を読む。

予習時間：60分

復習内容：発表者による説明や他の受講生から出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第15回 受講生の発表③

予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べ、表現スタイルに注意しながら文章を読む。

予習時間：60分

復習内容：発表者による説明や他の受講生から出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語アカデミックリーディング1 <薬>				
英文名 :	Academic Reading in Japanese 1				
担当者 :	木津 可奈子				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

新聞や雑誌などの記事を用い、様々な時事トピックについて読んでいく。時事問題を議論する際に必要な表現や語彙を学習し、さらにペアやグループによる活動を行いながら、トピックに対する自分の考えを深める。

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学習・教育目標及び到達目標

日本語で時事問題を理解し、議論できるようになること。

この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること」の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 60%

授業活動、授業中の課題 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後に「試験の要点と解説」を配布します。

■ 教科書

プリントを配布

■ 参考文献

必要に応じて紹介する

■ 関連科目

日本語読解1, 2, 3, 4

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

初回授業時に指示します。

■ オフィスアワー

授業終了後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス

予習内容：シラバスを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：自己紹介シートを作成する。

復習時間：30分

第2回 各業界の展望

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第3回 食品ロス

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第4回 コロナを超えて

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第5回 格差の諸相

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第6回 気候変動と環境

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第7回 大阪が抱える課題

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第8回 人間の仕事とAI

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第9回 ワークスタイルの変化

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第10回 自然災害と対策

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第11回 人口減少

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第12回 ファクトフルネス

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第13回 自動運転の課題

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第14回 エンターテインメントの将来

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第15回 SNSをめぐる問題

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語作文 3 <薬>				
英文名 :	Japanese Composition 3				
担当者 :	川淵 節子				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

日本語作文1・2で学習した「論理的な文章」を書くための基本をベースに、本講義ではその応用としてよりアカデミックなレベルのレポート、論文要旨、学術論文などを書く力をつけていく。

毎回、テーマに合わせて文章表現や語彙を学ぶだけでなく、それらによって構築される典型的な文章の展開パターンを学習することによって、自然に学術的文章が書けるようになることを目的としている。

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 学習・教育目標及び到達目標

学術的文章の典型的な展開パターンを身につけ、論理的な文章が正確に書く力を身につけることを目標としている。

この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること」の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

毎回の課題 60%

レポート 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

次の授業時間に課題を返却します。

■ 教科書

[ISBN]9784757426344 『大学・大学院 留学生の日本語〈4〉論文作成編』（アカデミックジャパニーズ研究会,アルク）

■ 参考文献

[ISBN]9784874241271 『大学生と留学生のための論文ワークブック』（浜田 麻里, くろしお出版）

■ 関連科目

日本語作文1. 2. 4

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

初回の授業で通知

■ オフィスアワー

授業の前後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 授業ガイダンス 第1課 作文の基本 (1)

予習内容：シラバスを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：授業中に会った知らない表現をメモし、単語帳を作成する。

復習時間：20分

第2回 第2課 作文の基本 (2)

予習内容：教科書の該当箇所を読んでおく。

予習時間：30分

復習内容：返却された原稿を修正する。

復習時間：30分

第3回 第3課 課題の提示

予習内容：教科書の該当箇所を読んでおく。

予習時間：30分

復習内容：返却された原稿を修正する。

復習時間：30分

第4回 第4課 目的の提示

予習内容：教科書の該当箇所を読んでおく。

予習時間：30分

復習内容：返却された原稿を修正する。

復習時間：30分

第5回 第5課 定義と分類

予習内容：教科書の該当箇所を読んでおく。

予習時間：30分

復習内容：返却された原稿を修正する。

復習時間：30分

第6回 第6課 図表の提示

予習内容：教科書の該当箇所を読んでおく。

予習時間：30分

復習内容：返却された原稿を修正する。

復習時間：30分

第7回 第7課 変化の形容

予習内容：教科書の該当箇所を読んでおく。

予習時間：30分

復習内容：返却された原稿を修正する。

復習時間：30分

第8回 第8課 対比と比較 レポートのテーマを考える。

予習内容：教科書の該当箇所を読んでおく。レポートのテーマを考える。

予習時間：40分

復習内容：返却された原稿を修正する。

復習時間：40分

第9回 第9課 原因の考察 レポートのアウトラインを考える

予習内容：教科書の該当箇所を読んでおく。レポートアウトラインの作成

予習時間：60分

復習内容：返却された原稿を修正する。アウトライン再考

復習時間：50分

第10回 第10課 列挙

予習内容：教科書の該当箇所を読んでおく。

予習時間：30分

復習内容：返却された原稿を修正する。

復習時間：30分

第11回 第11課 引用 引用文献の書き方

予習内容：教科書の該当箇所を読んでおく。レポートに必要な資料を収集する。

予習時間：60分

復習内容：返却された原稿を修正する。

復習時間：30分

第12回 第12課 同意と反論 レポート執筆

予習内容：教科書の該当箇所を読んでおく。序論を執筆する。

予習時間：90分

復習内容：返却された原稿を修正する。序論を訂正する。

復習時間：50分

第13回 第13課 帰結 レポート執筆①

予習内容：教科書の該当箇所を読んでおく。本論を執筆する。

予習時間：90分

復習内容：返却された原稿を修正する。本論を訂正する。

復習時間：90分

第14回 第14課 結論の提示 レポート執筆②

予習内容：教科書の該当箇所を読んでおく。結論を執筆する。

予習時間：60分

復習内容：返却された原稿を修正する。結論を訂正する。

復習時間：60分

第15回 レポート執筆③

予習内容：レポート第一稿を完成させる。

予習時間：90分

復習内容：レポート第一稿を修正する。

復習時間：60分

レポート最終稿提出

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語読解 4 <薬>				
英文名 :	Japanese Reading Comprehension 4				
担当者 :	藤井 和子				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

数編の日本の短編小説などを通して精読する。語彙や文型の意味を把握するのはもちろんのこと、特徴的な表現効果にも留意しながら作者の世界観に迫っていきたい。

対面授業とメディア授業等の併用

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学習・教育目標及び到達目標

日本語力、経験、想像力を十分に活用しながら、ことば（日本語）で書かれた作品の奥行きを実感できるようになること。この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること」の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

定期試験またはレポート 70%
授業中の課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をユニバカGoogle classroomに掲載する。

■ 教科書

プリントを配布するか『現代文B』教育出版 前期の続き

■ 参考文献

必要に応じて紹介する

■ 関連科目

日本語読解 1, 2, 3

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

初回授業時に指示します。

■ オフィスアワー

授業終了後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス

予習内容：シラバスを熟読してくること。

予習時間：30分

復習内容：自己紹介シートを作成すること。

復習時間：30分

第2回 短編小説を読む（1）①

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目について調べてくること。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること。

復習時間：60分

第3回 短編小説を読む（1）②

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目について調べてくること。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること。

復習時間：60分

第4回 短編小説を読む（1）③

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目について調べてくること。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること。

復習時間：60分

第5回 短編小説を読む（1）④

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目について調べてくること。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること。

復習時間：60分

第6回 短編小説を読む（2）①

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目について調べてくること。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること。

復習時間：60分

第7回 短編小説を読む（2）②

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目について調べてくること。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること。

復習時間：60分

第8回 短編小説を読む（2）③

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目について調べてくること。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること。

復習時間：60分

第9回 短編小説を読む（2）④

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目について調べてくること。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること。

復習時間：60分

第10回 短編小説を読む（3）①

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目について調べてくること。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること。

復習時間：60分

第11回 短編小説を読む（3）②

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目について調べてくること。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること。

復習時間：60分

第12回 短編小説を読む（3）③

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目について調べてくること。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること。

復習時間：60分

第13回 短編小説を読む（3）④

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目について調べてくること。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること。

復習時間：60分

第14回 まとめ

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目について調べてくること。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること。

復習時間：60分

第15回 予備日

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目について調べてくること。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること。

復習時間：60分

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語会話 1 <薬>				
英文名 :	Conversational Expressions in Japanese 1				
担当者 :	野村 由香里				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

- ・留学生が大学内外において、よりよい人間関係を築いていくために必要な日本語表現やマナー等を身につける
- ・それぞれの場面を想定したロールプレイを用いて、これまで学習してきた語彙や表現に新たに加え、より高度な日本語を身につける

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 学習・教育目標及び到達目標

- ・留学生が大学入学以前に身につけた日本語に加え、より高度な日本語や表現、マナーを身につけ、大学内外においてよりよい人間関係が築けるようになる。

■ 成績評価方法および基準

発表点 50%
 定期試験 30%
 評価表点 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

次の授業時間に課題を返却します
 試験終了後に個別にコメントをします

■ 教科書

特に指定しない
 適宜ハンドアウトを配布する

■ 参考文献

[ISBN]9784883193615 『会話に挑戦!中級前期からの日本語ロールプレイ』(中居 順子, スリーエーネットワーク : 2005)
 [ISBN]9784883194490 『日本語超級話者へのかけはしーきちんと伝える技術と表現 上級から超級へ』(荻原 稚佳子, スリーエーネットワーク : 2007)
 [ISBN]9784883193554 『日本語上級話者への道ーきちんと伝える技術と表現』(荻原 稚佳子, スリーエーネットワーク : 2005)
 [ISBN]9784893588715 『日本語でインターアクション』(吉田 千春, 凡人社 : 2014)
 [ISBN]9784883196555 『中上級学習者のためのブラッシュアップ日本語会話ーみがけ!コミュニケーションスキル』(清水 崇文, スリーエーネットワーク : 2013)

■ 関連科目

日本語会話2 3 4

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

youxiangli0920@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業の前後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 授業概要の説明／自己紹介／「印象的な自己紹介」語彙・表現の学習

予習内容：シラバスを熟読しておくこと

予習時間：30分

復習内容：学習した語彙や表現を復習し、次週の発表原稿を作成しておく

復習時間：90分

第2回 「印象的な自己紹介2」発表

予習内容：発表原稿の準備

予習時間：90分

復習内容：自分の発表を振り返り、次回の発表に活かせるように自己評価表に記入する

復習時間：30分

第3回 「友達を慰める・励ます1」語彙・表現の学習

予習内容：新しい語彙や表現の意味を確認しておく

予習時間：60分

復習内容：授業で学習した語彙や表現、例文などをよく復習しておく

復習時間：60分

第4回 「友達を慰める／励ます2」発表

予習内容：発表原稿の準備

予習時間：90分

復習内容：自分の発表を振り返り、次回の発表に活かせるように自己評価表に記入する

復習時間：30分

第5回 「財布をなくして説明する1」語彙・表現の学習

予習内容：新しい語彙や表現の意味を確認しておく

予習時間：60分

復習内容：授業で学習した語彙や表現、例文などをよく復習しておく

復習時間：60分

第6回 「財布をなくして説明する2」発表

予習内容：発表原稿の準備

予習時間：90分

復習内容：自分の発表を振り返り、次回の発表に活かせるように自己評価表に記入する

復習時間：30分

第7回 中間試験

予習内容：中間試験、発表原稿の準備

予習時間：120分

復習内容：中間試験の発表を振り返り、次回の発表に活かせるように自己評価表に記入する

復習時間：40分

第8回 「日にちの変更の許可を求める1」語彙・表現の学習

予習内容：新しい語彙や表現の意味を確認しておく

予習時間：60分

復習内容：授業で学習した語彙や表現、例文などをよく復習しておく

復習時間：60分

第9回 「日にちの変更の許可を求める2」発表

予習内容：発表原稿の準備

予習時間：90分

復習内容：自分の発表を振り返り、次回の発表に活かせるように自己評価表に記入する

復習時間：30分

第10回 「医者に症状を説明する1」語彙・表現の学習

予習内容：新しい語彙や表現の意味を確認しておく

予習時間：60分

復習内容：授業で学習した語彙や表現、例文などをよく復習しておく

復習時間：60分

第11回 「医者に症状を説明する2」発表

予習内容：発表原稿の準備

予習時間：90分

復習内容：自分の発表を振り返り、次回の発表に活かせるように自己評価表に記入する

復習時間：30分

第12回 交通事故の状況を説明する1」語彙・表現の学習

予習内容：新しい語彙や表現の意味を確認しておく

予習時間：60分

復習内容：授業で学習した語彙や表現、例文などをよく復習しておく

復習時間：60分

第13回 「交通事故の状況を説明する2」発表

予習内容：発表原稿の準備

予習時間：90分

復習内容：自分の発表を振り返り、次回の発表に活かせるように自己評価表に記入する

復習時間：30分

第14回 「希望の部屋を探す1」語彙・表現の学習

予習内容：新しい語彙や表現の意味を確認しておく

予習時間：60分

復習内容：授業で学習した語彙や表現、例文などをよく復習しておく

復習時間：60分

第15回 「希望の部屋を探す2」発表

予習内容：発表原稿の準備

予習時間：90分

復習内容：自分の発表を振り返り、次回の発表に活かせるように自己評価表に記入する

復習時間：30分

定期口頭試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語会話 2 <薬>						
英文名 :	Conversational Expressions in Japanese 2						
担当者 :	野村 由香里						
開講学科 :	外国人特例科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

- ・留学生が目上の人を意識した敬語を含む日本語表現を身につける
- ・実際に学生自身が遭遇するであろう会話場面を想定し、会話作成を行い発表を行う。

対面授業とメディア授業等の併用

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 学習・教育目標及び到達目標

- ・留学生が目上の人と接するときに必要な表現や語彙、マナー等を身につける

■ 成績評価方法および基準

発表点 50%

定期試験 30%

評価表点 20%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

次の授業時間に課題を返却します

試験終了後に個別にコメントをします

■ 教科書

特に指定しない

適宜ハンドアウトを配布する

■ 参考文献

[ISBN]9784883193615 『会話に挑戦!中級前期からの日本語ロールプレイ』(中居 順子, スリーエーネットワーク: 2005)

[ISBN]9784883196555 『中上級学習者のためのブラッシュアップ日本語会話一みかけ!コミュニケーションスキル』(清水 崇文, スリーエーネットワーク: 2013)

[ISBN]9784893588715 『日本語でインターアクション』(吉田 千春, 凡人社: 2014)

[ISBN]9784883193554 『日本語上級話者への道—きちんと伝える技術と表現』(荻原 稚佳子, スリーエーネットワーク: 2005)

[ISBN]9784883194490 『日本語超級話者へのかけはし—きちんと伝える技術と表現 上級から超級へ』(荻原 稚佳子, スリーエーネットワーク: 2007)

■ 関連科目

日本語会話1 3 4

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

youxiangli0920@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業前後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 授業概要の説明・自己紹介

予習内容：シラバスを熟読しておく

予習時間：30分

復習内容：授業概要についてよく理解しておく

復習時間：60分

第2回 「先生を飲み会に誘う1」 語彙・表現の学習

予習内容：教科書に出てくる新出語彙や表現の意味を確認しておく

予習時間：60分

復習内容：授業で学習した語彙や表現、例文などをよく理解しておく

復習時間：90分

第3回 「先生を飲み会に誘う2」 発表

予習内容：発表準備

予習時間：120分

復習内容：自分の発表を振り返り自己評価表に記入する共に次回の発表に備える

復習時間：50分

第4回 「先生の誘いを断る1」 語彙・表現の学習

予習内容：教科書に出てくる新出語彙や表現の意味を確認しておく

予習時間：60分

復習内容：授業で学習した語彙や表現、例文などをよく理解しておく

復習時間：90分

第5回 「先生の誘いを断る2」 発表

予習内容：発表準備

予習時間：120分

復習内容：自分の発表を振り返り自己評価表に記入する共に次回の発表に備える

復習時間：50分

第6回 「先生に訂正を求める1」 語彙・表現の学習

予習内容：教科書に出てくる新出語彙や表現の意味を確認しておく

予習時間：60分

復習内容：授業で学習した語彙や表現、例文などをよく理解しておく

復習時間：90分

第7回 「先生に訂正を求める2」 発表

予習内容：発表準備

予習時間：120分

復習内容：自分の発表を振り返り自己評価表に記入する共に次回の発表に備える

復習時間：50分

第8回 中間試験

予習内容：中間試験発表準備

予習時間：120分

復習内容：自分の発表を振り返り自己評価表に記入する共に次回の発表に備える

復習時間：50分

第9回 「目上の人に注意を促そう1」 語彙・表現の学習

予習内容：教科書に出てくる新出語彙や表現の意味を確認しておく

予習時間：60分

復習内容：授業で学習した語彙や表現、例文などをよく理解しておく

復習時間：90分

第10回 「目上に人に注意を促そう2」 発表

予習内容：発表準備

予習時間：120分

復習内容：自分の発表を振り返り自己評価表に記入する共に次回の発表に備える

復習時間：50分

第11回 「不満に対処しよう1」 語彙・表現の学習

予習内容：教科書に出てくる新出語彙や表現の意味を確認しておく

予習時間：60分

復習内容：授業で学習した語彙や表現、例文などをよく理解しておく

復習時間：90分

第12回 「不満に対処しよう2」 発表

予習内容：発表準備

予習時間：120分

復習内容：自分の発表を振り返り自己評価表に記入する共に次回の発表に備える

復習時間：50分

第13回 「困った状況を伝えて交渉しよう1」 語彙・表現の学習

予習内容：教科書に出てくる新出語彙や表現の意味を確認しておく

予習時間：60分

復習内容：授業で学習した語彙や表現、例文などをよく理解しておく

復習時間：90分

第14回 「困った状況を伝えて交渉しよう2」 発表

予習内容：発表準備

予習時間：120分

復習内容：自分の発表を振り返り自己評価表に記入する共に次回の発表に備える

復習時間：50分

第15回 期末試験準備

予習内容：期末試験発表準備

予習時間：130分

復習内容：自分の発表を振り返り自己評価表に記入する共にこの半年のまとめを行う

復習時間：50分

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語会話 4 <薬>				
英文名 :	Conversational Expressions in Japanese 4				
担当者 :	笠松 瑞子				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

上級話者として必要な下記能力を習得する。

① 何を言いたいのが伝わる話し方をする。② 話題に応じた語彙や表現を用いる。③ 正しい文法（特に自動詞・他動詞）を用いる。④ 話すべき内容と構成を意識しながら話す。⑤ 自然な話し方をする。

対面授業とメディア授業等の併用

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 学習・教育目標及び到達目標

個人的、一般的な興味に関する話題についての詳細な説明、描写、叙述などができるようになる。
この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を身に付けること」の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

授業中の課題 40%

発表 30%

試験 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

次の授業時間に課題を返却します。

試験の要点と解説を授業時間内に提示します

■ 教科書

[ISBN] 9784883193554 『日本語上級話者への道—きちんと伝える技術と表現』
(稚佳子, 荻原, スリーエーネットワーク : 2005)

■ 参考文献

■ 関連科目

日本語会話1,2,4

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

kasamatsu@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業の前後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス / 1課「自己紹介で好印象を与えよう」①

予習内容：シラバスを熟読しておく。

予習時間：30分

復習内容：新しく出会った言葉の意味や表現を確認する。

復習時間：30分

第2回 1課「自己紹介で好印象を与えよう」②（発表）

予習内容：発表の準備しておく。

予習時間：60分

復習内容：他の人の発表の中で、知らなかった言葉や表現を確認する。

復習時間：30分

第3回 2課「きっかけを語ろう」

予習内容：知らない言葉を調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業で出会った言葉の意味や表現を確認する。

復習時間：30分

第4回 第4課「町の様子を話そう」①

予習内容：知らない言葉を調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業で出会った言葉の意味や表現を確認する。

復習時間：30分

第5回 第4課「町の様子を話そう」②（発表）

予習内容：発表の準備をしておく。

予習時間：60分

復習内容：自分の発表で良かった点・うまくいかなかった点を確認する。

復習時間：30分

第6回 第5課「動きの順序を説明しよう」①

予習内容：知らない言葉を調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業で出会った言葉の意味や表現を確認する。

復習時間：30分

第7回 第5課「動きの順序を説明しよう」②

予習内容：知らない言葉を調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業で出会った言葉の意味や表現を確認する。

復習時間：30分

第8回 第6課「スポーツのおもしろさを伝えよう」

予習内容：知らない言葉を調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業で出会った言葉の意味や表現を確認する。

復習時間：30分

第9回 第7課「言いかえて説明しよう」①

予習内容：知らない言葉を調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業で出会った言葉の意味や表現を確認する。

復習時間：30分

第10回 第7課「言い換えて説明しよう」②（発表）

予習内容：発表の準備をしておく。

予習時間：60分

復習内容：自分の発表で良かった点・うまくいかなかった点を確認する。

復習時間：30分

第11回 第9課「ストーリーを話そう」①

予習内容：知らない言葉を調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業で出会った言葉の意味や表現を確認する。

復習時間：30分

第12回 第9課「ストーリーを話そう」②（発表）

予習内容：発表の準備をしておく。

予習時間：60分

復習内容：自分の発表で良かった点・うまくいかなかった点を確認する。

復習時間：30分

第13回 第10課「最近の出来事を話そう」①

予習内容：知らない言葉を調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業で出会った言葉の意味や表現を確認する。

復習時間：30分

第14回 第10課「最近の出来事を話そう」②

予習内容：知らない言葉を調べておく。

予習時間：60分

復習内容：授業で出会った言葉の意味や表現を確認する。

復習時間：30分

第15回 総復習（きっかけ・町の様子・動きの順序・言い換え・ストーリー）

予習内容：今までに習った言葉や表現で分からないものはないか確認しておく。

予習時間：60分

復習内容：今までに習った言葉や表現を確認する。

復習時間：30分

定期試験

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語リサーチメソッド2 <薬>				
英文名 :	Reseach Method in Japanese 2				
担当者 :	笠松 瑞子				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

留学生の中には、与えられた課題にはきちんと取り組めるものの、自らテーマを探して研究をすることが不得手な学生が多い。そこで、日本語リサーチメソッド1・2では、自ら研究を進めていくプロセスを学ぶ。また、口頭発表など日本語によるプレゼンテーションの技術を身につけることも目的としている。グループワークもあるため、参加者は授業に積極的に参加することが望まれる。また、教材の説明文には難しい漢字や表現があるため、N1レベル以上の日本語能力を有する者の受講が望ましい。(学生の人数・レベルによっては、各回の授業予定内容は変更されることもある。)

対面授業とメディア授業等の併用

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 学習・教育目標及び到達目標

論文を書くための研究方法について学ぶ

この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4.異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身につけていること」の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

授業中課題 60%

試験 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

次回の授業時にフィードバックします。

■ 教科書

適宜プリントを配布する

■ 参考文献

[ISBN] 9784874246184 『Good Writingへのパスポート-読み手と構成を意識した日本語ライティング』
(田中 真理, くろしお出版 : 2014)

■ 関連科目

日本語リサーチメソッド1

日本語作文3・4を終えていることが望ましい。

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

kasamatsu@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業終了後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス / 1課：よい文章とは①

予習内容：シラバスを熟読してきてください。

予習時間：30分

復習内容：学習した内容を確認しておいてください。

復習時間：60分

第2回 1課：よい文章とは②

予習内容：配布資料を読んでおいてください。

予習時間：60分

復習内容：よい文を書くには何が必要か復習しておいてください。

復習時間：60分

第3回 2課：ワードの使いかた

予習内容：配布資料を読んでおいてください。

予習時間：60分

復習内容：ワードの使い方を復習しておいてください。

復習時間：60分

第4回 3課：ナラティブ

予習内容：配布資料を読んでおいてください。

予習時間：60分

復習内容：ナラティブとは何なのか、確認しておいてください。

復習時間：60分

第5回 4課：描写

予習内容：配布資料を読んでおいてください。

予習時間：60分

復習内容：描写について、復習しておいてください。

復習時間：60分

第6回 5課：説明

予習内容：配布資料を読んでおいてください。

予習時間：60分

復習内容：説明文について、確認しておいてください。

復習時間：60分

第7回 6課：定義①

予習内容：配布資料を読んでおいてください。

予習時間：60分

復習内容：定義について、復習しておいてください。

復習時間：60分

第8回 6課：定義②

予習内容：配布資料を読んでおいてください。

予習時間：60分

復習内容：定義について、復習しておいてください。

復習時間：60分

第9回 7課：分類・例示①

予習内容：配布資料を読んでおいてください。

予習時間：60分

復習内容：分類・例示について、復習しておいてください。

復習時間：60分

第10回 7課：分類・例示②

予習内容：配布資料を読んでおいてください。

予習時間：60分

復習内容：分類・例示について、復習しておいてください。

復習時間：60分

第11回 8課：比較・対照①

予習内容：配布資料を読んでおいてください。

予習時間：60分

復習内容：比較・対象について、確認しておいてください。

復習時間：60分

第12回 8課：比較・対象②

予習内容：配布資料を読んでおいてください。

予習時間：60分

復習内容：比較・対象について、復習しておいてください。

復習時間：60分

第13回 9課：原因・結果①

予習内容：配布資料を読んでおいてください。

予習時間：60分

復習内容：原因・結果について、復習しておいてください。

復習時間：60分

第14回 9課：原因・結果②

予習内容：配布資料を読んでおいてください。

予習時間：60分

復習内容：原因・結果について、復習しておいてください。

復習時間：60分

第15回 総復習（ナラティブ・描写・説明・定義・分類/例示・比較/対象・原因/結果）

予習内容：配布された資料に目を通しておいてください。

予習時間：60分

復習内容：これまでに学習した内容を確認しておいてください。

復習時間：60分

定期試験

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語アカデミックリーディング2 <薬>				
英文名 :	Academic Reading in Japanese 2				
担当者 :	木津 可奈子				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

前期の「日本語アカデミックリーディング1」と同じく、新聞や雑誌などの記事を用い、様々な時事トピックについて読んでいく。時事問題を議論する際に必要な表現や語彙を学習し、さらにペアやグループによる活動を行う。

対面授業とメディア授業等の併用

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学習・教育目標及び到達目標

日本語で時事問題を理解し、議論できるようになること。

この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること」の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 60%

授業活動、授業中の課題 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後に「試験の要点と解説」を配布します。

■ 教科書

プリントを配布

■ 参考文献

必要に応じて紹介する

■ 関連科目

日本語読解 1, 2, 3, 4

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

初回授業時に指示します。

■ オフィスアワー

授業終了後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス

予習内容：シラバスを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：自己紹介シートを作成する。

復習時間：30分

第2回 教育の現状

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第3回 観光の諸問題

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第4回 少子化と子育て支援

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第5回 多様性について

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第6回 雇用形態の変化

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第7回 農業の世界

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第8回 プラスチックごみの問題

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第9回 原子力発電と再生可能エネルギー

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第10回 おもてなしとは何か

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第11回 医療の諸問題

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第12回 行動経済学の考え方

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第13回 労働者の待遇

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第14回 変化する日本語

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

第15回 宗教をどうとらえるか

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目（用語・ニュース等）について調べてくる。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめる。

復習時間：60分

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語作文 4 <薬>				
英文名 :	Japanese Composition 4				
担当者 :	川淵 節子				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

日本語作文1・2で学習した「論理的な文章」を書くための基本をベースに、本講義ではその応用としてよりアカデミックなレベルのレポート、論文要旨、学術論文などを書く力をつけていく。

毎回、テーマに合わせて文章表現や語彙を学ぶだけでなく、それらによって構築される典型的な文章の展開パターンを学習することによって、自然に学術的文章が書けるようになることを目的としている。

対面授業とメディア授業等の併用

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 学習・教育目標及び到達目標

学術的文章の典型的な展開パターンを身につけ、論理的な文章が正確に書く力を身につけることを目標としている。

この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること」の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

毎回の課題 60%

レポート 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

次の授業時間に課題を返却します。

■ 教科書

適宜ハンドアウト配布

■ 参考文献

[ISBN]9784757426344 『大学・大学院 留学生の日本語〈4〉論文作成編』（アカデミックジャパニーズ研究会,アルク）

[ISBN]9784874241271 『大学生と留学生のための論文ワークブック』（浜田 麻里, くらしお出版）

■ 関連科目

日本語作文1. 2. 3

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

初回の授業で通知

■ オフィスアワー

授業の前後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

予習内容：シラバスを熟読する。

予習時間：20分

復習内容：授業中に会った知らない表現の意味を調べたり例文をメモしたりして、あとで見返せるようにしておく。

復習時間：30分

第2回 レポート・論文で使われる語・表現

予習内容：ハンドアウトを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：返却された原稿を修正する。

復習時間：30分

第3回 論文の構成

予習内容：ハンドアウトを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：返却された原稿を修正する。

復習時間：30分

第4回 先行研究紹介（引用と要約）①

予習内容：ハンドアウトを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：返却された原稿を修正する。

復習時間：30分

第5回 先行研究紹介（引用と要約）②

予習内容：ハンドアウトを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：返却された原稿を修正する。

復習時間：30分

第6回 データの提示と意見提示①

予習内容：ハンドアウトを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：返却された原稿を修正する。

復習時間：30分

第7回 データの提示と意見提示②

予習内容：ハンドアウトを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：返却された原稿を修正する。

復習時間：30分

第8回 時事問題をテーマにレポートを書く①

予習内容：ハンドアウトを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：返却された原稿を修正する。

復習時間：30分

第9回 時事問題をテーマにレポートを書く②

予習内容：ハンドアウトを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：返却された原稿を修正する。

復習時間：30分

第10回 時事問題をテーマにレポートを書く③

予習内容：ハンドアウトを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：返却された原稿を修正する。

復習時間：30分

第11回 時事問題をテーマにレポートを書く④

予習内容：ハンドアウトを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：返却された原稿を修正する。

復習時間：30分

第12回 時事問題をテーマにレポートを書く⑤

予習内容：ハンドアウトを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：返却された原稿を修正する。

復習時間：30分

第13回 レポート執筆①

予習内容：序論を執筆する。

予習時間：60分

復習内容：序論を訂正する。

復習時間：60分

第14回 レポート執筆②

予習内容：本論を執筆する。

予習時間：60分

復習内容：本論を訂正する。

復習時間：60分

第15回 レポート執筆③

予習内容：結論を執筆する。

予習時間：60分

復習内容：レポートを完成させる。

復習時間：60分

レポート最終稿提出

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	初修英語基礎1 <薬>						
英文名 :	Basic English as a Second Foreign Language 1						
担当者 :	溝上 瑛梨						
開講学科 :	外国人特例科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	前期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

英語の基本的な文法事項を一通り学習し、英語の正しい運用の基礎となる文法能力の育成を目指します。授業では、取り上げた文法項目について学習・演習したのち、その文法項目を使用してリスニング・スピーキング・リーディング・ライティングの訓練をします。ボキャブラリーを増やすために重要語彙の学習も合わせて行います。また、ペアワーク・グループワークを行うことにより、学生同士の積極的なコミュニケーションを通じて、学習したことの実践、定着を図ります。

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語・英語の併用

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者は、この授業を履修することによって、

- (1)基礎的な英語文法を理解し、正しく運用することができるようになる。
- (2)基礎的な英語文法を、実際の英語によるコミュニケーションに応用できるようになる。
- (3)実践的な演習を通じて、英語によるコミュニケーションの場面に慣れる。

この科目の修得は、本学部の定めるディプロマポリシー 3 の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 30%

小テスト 30%

発表・課題 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784791972272 『Living Grammar: コミュニケーションのためのベーシック・グラマー 最新版』（山本 厚子, 成美堂 : 2021)

【留意事項】

優先度の高い項目を取り上げるため、教科書をUnit 1から順に進めていく形ではありません。予習の際には該当Unitをその都度しっかり確認してください。

■ 参考文献

適宜授業時に紹介します。

■ 関連科目

初修英語基礎2

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

21号館2階講師室、メールアドレスは初回の授業で伝えます。

■ オフィスアワー

水曜日 10:40 ~ 11:00

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

予習内容：シラバスを読み、特に「授業概要・方法等」、「学習・教育目標及び到達目標」、「成績評価方法および基準」を理解する。

予習時間：45分

復習内容：英語の構造の基本について復習する。主語・動詞・目的語・補語や各品詞の、文中での働きを確認する。

復習時間：45分

授業の進め方、評価の方法等について説明します。また、文型や品詞など、英語の構造の基本について学習します。

第2回 Unit 1 Profile (be動詞) その1

予習内容：Vocabulary, Warm-up, Grammar Practice, Dialogueの各パートを解く。Vocabularyにある単語以外にも分からない単語があれば調べておく。

予習時間：45分

復習内容：be動詞について確認する。Warm-upの空欄補充問題やGrammar Practiceパートで間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間：45分

be動詞について学習し、Vocabulary, Warm-up, Grammar Point, Grammar Practice, Dialogueの各パートを演習・解説する。

第3回 Unit 1 Profile (be動詞) その2

予習内容：Readingパートの文章を読み、A・Bの問いに答える。分からない単語があれば調べておく。

予習時間：45分

復習内容：Readingパートで間違っていた箇所を確認する。Writingで指摘を受けた箇所について考え、書き直す。

復習時間：60分

be動詞を用いたリーディング・ライティングを通して、前週に学んだことを実践する。

第4回 Unit 2 Sports (一般動詞(1) 自動詞・他動詞) その1

予習内容：前のUnitの重要単語・文法事項を取り上げた小テストの学習。

Vocabulary, Warm-up, Grammar Practice, Dialogueの各パートを解く。Vocabularyにある単語以外にも分からない単語があれば調べておく。

予習時間：60分

復習内容：自動詞・他動詞について確認する。Warm-upの空欄補充問題やGrammar Practiceパートで間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間：45分

自動詞・他動詞について学習し、Vocabulary, Warm-up, Grammar Point, Grammar Practice, Dialogueの各パートを演習・解説する。

第5回 Unit 2 Sports (一般動詞(1) 自動詞・他動詞) その2

予習内容：Readingパートの文章を読み、A・Bの問いに答える。分からない単語があれば調べておく。

予習時間：45分

復習内容：Readingパートで間違っていた箇所を確認する。Writingで指摘を受けた箇所について考え、書き直す。

復習時間：60分

自動詞・他動詞を用いたリーディング・ライティングを通して、前週に学んだことを実践する。

第6回 Unit 3 Special Occasions (一般動詞(2) 二重目的語、目的語と補語をとる動詞) その1

予習内容：前のUnitの重要単語・文法事項を取り上げた小テストの学習。

Vocabulary, Warm-up, Grammar Practice, Dialogueの各パートを解く。Vocabularyにある単語以外にも分からない単語があれば調べておく。

予習時間：60分

復習内容：二重目的語、目的語と補語をとる動詞について確認する。Warm-upの空欄補充問題やGrammar Practiceパートで間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間：45分

二重目的語、目的語と補語をとる動詞について学習し、Vocabulary, Warm-up, Grammar Point, Grammar Practice, Dialogueの各パートを演習・解説する。

第7回 Unit 3 Special Occasions (一般動詞(2) 二重目的語、目的語と補語をとる動詞) その2

予習内容：Readingパートの文章を読み、A・Bの問いに答える。分からない単語があれば調べておく。

予習時間：45分

復習内容：Readingパートで間違っていた箇所を確認する。Writingで指摘を受けた箇所について考え、書き直す。

復習時間：60分

二重目的語、目的語と補語をとる動詞を用いたリーディング・ライティングを通して、前週に学んだことを実践する。

第8回 Unit 4 Families (人称代名詞) その1

予習内容：前のUnitの重要単語・文法事項を取り上げた小テストの学習。

Vocabulary, Warm-up, Grammar Practice, Dialogueの各パートを解く。Vocabularyにある単語以外にも分からない単語があれば調べておく。

予習時間：60分

復習内容：人称代名詞について確認する。Warm-upの空欄補充問題やGrammar Practiceパートで間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間：45分

人称代名詞について学習し、Vocabulary, Warm-up, Grammar Point, Grammar Practice, Dialogueの各パートを演習・解説する。

第9回 Unit 4 Families (人称代名詞) その2

予習内容：Readingパートの文章を読み、A・Bの問いに答える。分からない単語があれば調べておく。

予習時間：45分

復習内容：Readingパートで間違っていた箇所を確認する。Writingで指摘を受けた箇所について考え、書き直す。

復習時間：60分

人称代名詞を用いたリーディング・ライティングを通して、前週に学んだことを実践する。

第10回 Unit 5 Japan Quiz (Wh-疑問文) その1

予習内容：前のUnitの重要単語・文法事項を取り上げた小テストの学習。

Vocabulary, Warm-up, Grammar Practice, Dialogueの各パートを解く。Vocabularyにある単語以外にも分からない単語があれば調べておく。

予習時間：60分

復習内容：Wh-疑問文について確認する。Warm-upの空欄補充問題やGrammar Practiceパートで間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間：45分

Wh-疑問文について学習し、Vocabulary, Warm-up, Grammar Point, Grammar Practice, Dialogueの各パートを演習・解説する。

第11回 Unit 5 Japan Quiz (Wh-疑問文) その2

予習内容：Readingパートの文章を読み、A・Bの問いに答える。分からない単語があれば調べておく。

予習時間：45分

復習内容：Readingパートで間違っていた箇所を確認する。Writingで指摘を受けた箇所について考え、書き直す。

復習時間：60分

Wh-疑問文を用いたリーディング・ライティングを通して、前週に学んだことを実践する。

第12回 Unit 6 Love and Marriage (過去形) その1

予習内容：前のUnitの重要単語・文法事項を取り上げた小テストの学習。

Vocabulary, Warm-up, Grammar Practice, Dialogueの各パートを解く。Vocabularyにある単語以外にも分からない単語があれば調べておく。

予習時間：60分

復習内容：過去形について確認する。Warm-upの空欄補充問題やGrammar Practiceパートで間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間：45分

過去形について学習し、Vocabulary, Warm-up, Grammar Point, Grammar Practice, Dialogueの各パートを演習・解説する。

第13回 Unit 6 Love and Marriage (過去形) その2

予習内容：Readingパートの文章を読み、A・Bの問いに答える。分からない単語があれば調べておく。

予習時間：45分

復習内容：Readingパートで間違っていた箇所を確認する。Writingで指摘を受けた箇所について考え、書き直す。

復習時間：60分

過去形を用いたリーディング・ライティングを通して、前週に学んだことを実践する。

第14回 Unit 7 Life History (現在完了形(1) 継続)

予習内容：前のUnitの重要単語・文法事項を取り上げた小テストの学習。

Vocabulary, Warm-up, Grammar Practice, Dialogueの各パートを解く。Vocabularyにある単語以外にも分からない単語があれば調べておく。

予習時間：60分

復習内容：現在完了形の継続用法について確認する。練習問題で間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間：45分

現在完了形の継続用法について学習し、テキストや配布プリント用いて演習・解説する。

第15回 Unit 8 Leisure (現在完了形(2) 経験・完了)

予習内容：前のUnitの重要単語・文法事項を取り上げた小テストの学習。

Vocabulary, Warm-up, Grammar Practice, Dialogueの各パートを解く。Vocabularyにある単語以外にも分からない単語があれば調べておく。

予習時間：45分

復習内容：現在完了形の経験・完了用法について確認する。練習問題で間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間：60分

現在完了形の経験・完了用法について学習し、テキストや配布プリント用いて演習・解説する。

定期試験

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	初修英語基礎2 <薬>						
英文名 :	Basic English as a Second Foreign Language 2						
担当者 :	溝上 瑛梨						
開講学科 :	外国人特例科目						
単 位 :	1単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期	必修選択の別 :	選択科目
科目区分 :	外国語科目						
備 考 :							

■ 授業概要・方法等

英語の基本的な文法事項を一通り学習し、英語の正しい運用の基礎となる文法能力の育成を目指します。授業では、取り上げた文法項目について学習・演習したのち、その文法項目を使用してリスニング・スピーキング・リーディング・ライティングの訓練をします。ボキャブラリーを増やすために重要語彙の学習も合わせて行います。また、ペアワーク・グループワークを行うことにより、学生同士の積極的なコミュニケーションを通じて、学習したことの実践、定着を図ります。

対面授業とメディア授業等の併用

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）・自主学习支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語・英語の併用

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講者は、この授業を履修することによって、

- (1)基礎的な英語文法を理解し、正しく運用することができるようになる。
- (2)基礎的な英語文法を、実際の英語によるコミュニケーションに応用できるようになる。
- (3)実践的な演習を通じて、英語によるコミュニケーションの場面に慣れる。

この科目の修得は、本学部の定めるディプロマポリシー 3 の達成に関与しています。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 30%

小テスト 30%

発表・課題 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784791972272 『Living Grammar: コミュニケーションのためのベーシック・グラマー 最新版』（山本 厚子, 成美堂 : 2021)

【留意事項】

優先度の高い項目を取り上げるため、教科書をUnit 1から順に進めていく形ではありません。予習の際には該当Unitをその都度しっかり確認してください。

■ 参考文献

適宜授業時に紹介します。

■ 関連科目

初修英語基礎1

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行います。

■研究室・メールアドレス

21号館2階講師室，メールアドレスは初回の授業で伝えます。

■オフィスアワー

水曜日 10:40 ~ 11:00

■授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

予習内容：シラバスを読み、特に「授業概要・方法等」、「学習・教育目標及び到達目標」、「成績評価方法および基準」を理解する。

予習時間：45分

復習内容：テキストやプリントを読み直し、前期の学習内容を振り返る。

復習時間：45分

授業の進め方、評価の方法等について説明します。また、プリント教材を用いて前期の復習をします。

第2回 Unit 9 College Life (現在進行形、過去進行形) その1

予習内容：Vocabulary, Warm-up, Grammar Practice, Dialogueの各パートを解く。Vocabularyにある単語以外にも分からない単語があれば調べておく。

予習時間：45分

復習内容：現在進行形、過去進行形について確認する。Warm-upの空欄補充問題やGrammar Practiceパートで間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間：45分

現在進行形、過去進行形について学習し、Vocabulary, Warm-up, Grammar Point, Grammar Practice, Dialogueの各パートを演習・解説する。

第3回 Unit 9 College Life (現在進行形、過去進行形) その2

予習内容：Readingパートの文章を読み、A・Bの問いに答える。分からない単語があれば調べておく。

予習時間：45分

復習内容：Readingパートで間違っていた箇所を確認する。Writingで指摘を受けた箇所について考え、書き直す。

復習時間：60分

現在進行形、過去進行形を用いたリーディング・ライティングを通して、前週に学んだことを実践する。

第4回 Unit 10 On Vacation (未来表現 be going to, will) その1

予習内容：前のUnitの重要単語・文法事項を取り上げた小テストの学習。

Vocabulary, Warm-up, Grammar Practice, Dialogueの各パートを解く。Vocabularyにある単語以外にも分からない単語があれば調べておく。

予習時間：60分

復習内容：未来表現のbe going to, willについて確認する。Warm-upの空欄補充問題やGrammar Practiceパートで間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間：45分

未来表現のbe going to, willについて学習し、Vocabulary, Warm-up, Grammar Point, Grammar Practice, Dialogueの各パートを演習・解説する。

第5回 Unit 10 On Vacation (未来表現 be going to, will) その2

予習内容：Readingパートの文章を読み、A・Bの問いに答える。分からない単語があれば調べておく。

予習時間：45分

復習内容：Readingパートで間違っていた箇所を確認する。Writingで指摘を受けた箇所について考え、書き直す。

復習時間：60分

未来表現のbe going to, willを用いたリーディング・ライティングを通して、前週に学んだことを実践する。

第6回 Unit 11 Out and About (助動詞(1) can, mayなど) その1

予習内容：前のUnitの重要単語・文法事項を取り上げた小テストの学習。

Vocabulary, Warm-up, Grammar Practice, Dialogueの各パートを解く。Vocabularyにある単語以外にも分からない単語があれば調べておく。

予習時間：60分

復習内容：助動詞のcan, mayなどについて確認する。Warm-upの空欄補充問題やGrammar Practiceパートで間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間：45分

助動詞のcan, mayなどについて学習し、Vocabulary, Warm-up, Grammar Point, Grammar Practice, Dialogueの各パートを演習・解説する。

第7回 Unit 11 Out and About (助動詞(1) can, mayなど) その2

予習内容：Readingパートの文章を読み、A・Bの問いに答える。分からない単語があれば調べておく。

予習時間：45分

復習内容：Readingパートで間違っていた箇所を確認する。Writingで指摘を受けた箇所について考え、書き直す。

復習時間：60分

助動詞のcan, mayなどを用いたリーディング・ライティングを通して、前週に学んだことを実践する。

第8回 Unit 12 Rules (助動詞(2) must, shouldなど) その1

予習内容：前のUnitの重要単語・文法事項を取り上げた小テストの学習。

Vocabulary, Warm-up, Grammar Practice, Dialogueの各パートを解く。Vocabularyにある単語以外にも分からない単語があれば調べておく。

予習時間：60分

復習内容：助動詞のmust, shouldなどについて確認する。Warm-upの空欄補充問題やGrammar Practiceパートで間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間：45分

助動詞のmust, shouldなどについて学習し、Vocabulary, Warm-up, Grammar Point, Grammar Practice, Dialogueの各パートを演習・解説する。

第9回 Unit 12 Rules (助動詞(2) must, shouldなど) その2

予習内容：Readingパートの文章を読み、A・Bの問いに答える。分からない単語があれば調べておく。

予習時間：45分

復習内容：Readingパートで間違っていた箇所を確認する。Writingで指摘を受けた箇所について考え、書き直す。

復習時間：60分

助動詞のmust, shouldなどを用いたリーディング・ライティングを通して、前週に学んだことを実践する。

第10回 Unit 14 News & Events (受動態) その1

予習内容：前のUnitの重要単語・文法事項を取り上げた小テストの学習。

Vocabulary, Warm-up, Grammar Practice, Dialogueの各パートを解く。Vocabularyにある単語以外にも分からない単語があれば調べておく。

予習時間：60分

復習内容：受動態について確認する。Warm-upの空欄補充問題やGrammar Practiceパートで間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間：45分

受動態について学習し、Vocabulary, Warm-up, Grammar Point, Grammar Practice, Dialogueの各パートを演習・解説する。

第11回 Unit 14 News & Events (受動態) その2

予習内容：Readingパートの文章を読み、A・Bの問いに答える。分からない単語があれば調べておく。

予習時間：45分

復習内容：Readingパートで間違っていた箇所を確認する。Writingで指摘を受けた箇所について考え、書き直す。

復習時間：60分

受動態を用いたリーディング・ライティングを通して、前週に学んだことを実践する。

第12回 Unit 17 World Quiz (原級、比較級、最上級) その1

予習内容：前のUnitの重要単語・文法事項を取り上げた小テストの学習。

Vocabulary, Warm-up, Grammar Practice, Dialogueの各パートを解く。Vocabularyにある単語以外にも分からない単語があれば調べておく。

予習時間：60分

復習内容：原級、比較級、最上級について確認する。Warm-upの空欄補充問題やGrammar Practiceパートで間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間：45分

原級、比較級、最上級について学習し、Vocabulary, Warm-up, Grammar Point, Grammar Practice, Dialogueの各パートを演習・解説する。

第13回 Unit 17 World Quiz (原級、比較級、最上級) その2

予習内容：Readingパートの文章を読み、A・Bの問いに答える。分からない単語があれば調べておく。

予習時間：45分

復習内容：Readingパートで間違っていた箇所を確認する。Writingで指摘を受けた箇所について考え、書き直す。

復習時間：60分

原級、比較級、最上級を用いたリーディング・ライティングを通して、前週に学んだことを実践する。

第14回 Unit 20 Old Sayings (不定詞と動名詞) その1

予習内容：前のUnitの重要単語・文法事項を取り上げた小テストの学習。

Vocabulary, Warm-up, Grammar Practice, Dialogueの各パートを解く。Vocabularyにある単語以外にも分からない単語があれば調べておく。

予習時間：60分

復習内容：不定詞と動名詞について確認する。練習問題で間違っていた箇所のやり直しをする。

復習時間：45分

不定詞と動名詞について学習し、テキストや配布プリント用いて演習・解説する。

第15回 Unit 20 Old Sayings (不定詞と動名詞) その2

予習内容：Readingパートの文章を読み、A・Bの問いに答える。分からない単語があれば調べておく。

予習時間：45分

復習内容：Readingパートで間違っていた箇所を確認する。Writingで指摘を受けた箇所について考え、書き直す。

復習時間：60分

不定詞と動名詞を用いたリーディング・ライティングを通して、前週に学んだことを実践する。

定期試験

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語プレゼンテーション1 <薬>				
英文名 :	Presentaion in Japanese 1				
担当者 :	野村 由香里				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

一般的なトピックに関してよりよい話し方について学び、実践する。他者の話しを聞いて、要約すると共に自分の意見を端的にまとめ、伝える練習を行う。

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 学習・教育目標及び到達目標

- ・ 留学生が一般的なトピックについて、資料を用い分かりやすく話しができるようになる。
- ・ 留学生が、外国語である日本語で話しを聞いて要約し、それに対して自分の考えや意見を短い時間で端的に伝えられるようになる。
- ・ この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること」の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

口頭発表 50%
 評価シート 20%
 定期試験 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

次の授業時間に課題を返却します。
 試験の要点と解説を授業時間内に提示します。

■ 教科書

特に指定しない
 適宜ハンドアウトを配付する

■ 参考文献

[ISBN]9784486013549 『日本語 口頭発表と討論の技術—コミュニケーション・スピーチ・ディバートのために』（東海大学 留学生教育センター口頭発表教材研究会, 東海大学出版会）
 [ISBN]9784894763371 『アカデミックプレゼンテーション入門—最初の一步から始める日本語学習者と日本人学生のための』（三浦 香苗, ひつじ書房）

■ 関連科目

日本語プレゼンテーション2

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

youxiangli0920@kindai.ac.co.jp

■ オフィスアワー

授業の前後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 授業ガイダンス 自己紹介 スピーチのポイントについて

予習内容：シラバスを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：授業中に会った新しい言葉の意味を調べたり、スピーチのポイントをよく理解しておく

復習時間：60分

第2回 スピーチテーマ①「コロナ禍の生活になってからの変化」

予習内容：スピーチ原稿／メモを作成し、見ないで発表できるようにしておく

予習時間：90分

復習内容：発表を振り返り、自己評価表に記入し、次回の発表に備える

復習時間：30分

第3回 スピーチテーマ②「巣ごもり生活に役にたつ便利なもの」

予習内容：スピーチ原稿／メモを作成し、見ないで発表できるようにしておく

予習時間：90分

復習内容：発表を振り返り、自己評価表に記入し、次回の発表に備える

復習時間：30分

第4回 スピーチテーマ③「家族や友人にぜひ体験させたい日本」

予習内容：スピーチ原稿／メモを作成し、見ないで発表できるようにしておく

予習時間：90分

復習内容：発表を振り返り、自己評価表に記入し、次回の発表に備える

復習時間：30分

第5回 スピーチテーマ④「日本に来てからの失敗談」

予習内容：スピーチ原稿／メモを作成し、見ないで発表できるようにしておく

予習時間：90分

復習内容：発表を振り返り、自己評価表に記入し、次回の発表に備える

復習時間：30分

第6回 スピーチテーマ⑤「私のおすすめの日本のドラマ／映画」

予習内容：スピーチ原稿／メモを作成し、見ないで発表できるようにしておく

予習時間：120分

復習内容：発表を振り返り、自己評価表に記入し、次回の発表に備える

復習時間：30分

第7回 中間試験

予習内容：試験のための準備

予習時間：120分

復習内容：試験結果を見て自己評価表を書く

復習時間：60分

第8回 話しを聞いて要約する①

予習内容：配布された資料に目を通し、語彙や表現の予習

予習時間：60分

復習内容：授業内容の復習と定着

復習時間：30分

第9回 話しを聞いて要約する②

予習内容：自分の原稿の準備と話しのポイントをまとめておく

予習時間：60分

復習内容：話しのまとめ方のふりかえりを行う

復習時間：60分

第10回 話しを聞いて要約する③

予習内容：自分の原稿の準備と話しのポイントをまとめておく

予習時間：90分

復習内容：話しのまとめ方のふりかえりを行う

復習時間：30分

第11回 話しを聞いて要約する④

予習内容：自分の原稿の準備と話しのポイントをまとめておく

予習時間：60分

復習内容：話しのまとめ方のふりかえりを行う

復習時間：60分

第12回 1分で話す①

予習内容：配布された資料に目を通し、語彙や表現を調べておく

予習時間：90分

復習内容：授業内容の復習と定着

復習時間：30分

第13回 1分で話す②

予習内容：短い時間で自分の考えをまとめる訓練をしておく

予習時間：60分

復習内容：発表を振り返り、自己評価表に記入し、次回の発表に備える

復習時間：60分

第14回 1分で話す③

予習内容：発表原稿を作成し、原稿を見ないで発表できるように準備しておく

予習時間：90分

復習内容：発表を振り返り、自己評価表に記入し、次回の発表に備える

復習時間：30分

第15回 1分で話す④

予習内容：発表原稿を作成し、原稿を見ないで発表できるように準備しておく

予習時間：60分

復習内容：発表を振り返り、自己評価表に記入し、次回の発表に備える

復習時間：60分

中間期口頭試験

定期口頭試験

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	日本語プレゼンテーション2 <薬>				
英文名 :	Presentaion in Japanese 2				
担当者 :	野村 由香里				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

- ・日本語プレゼンテーション1に引き続き、プレゼンテーションの方法について学び、実践する。
- ・2ではトピックを専門的なものとし、実際に調査を行い、その結果をパワーポイントを使用して発表する。

対面授業とメディア授業等の併用

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 学習・教育目標及び到達目標

1. 留学生が、専門的なトピックでのプレゼンテーション能力を身につける。
2. 留学生が自分で調査を行い、結果をパワーポイントにまとめ、わかりやすく伝える能力を身につける。
3. この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること」の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

口頭発表 40%
 評価シート 20%
 最終発表（定期試験） 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

次の授業時間に評価シートを返却します。
 試験の要点と解説を授業時間内に提示します。

■ 教科書

特に指定しない
 適宜ハンドアウトを配付する

■ 参考文献

[ISBN]9784894763371 『アカデミックプレゼンテーション入門—最初の一步から始める日本語学習者と日本人学生のための』（三浦 香苗, ひつじ書房）
 [ISBN]9784874247891 『知へのステップ—大学生からのスタディ・スキルズ 5版』（くろしお出版）
 [ISBN]9784894762428 『広げる知の世界—大学でのまなびのレッスン』（北尾 謙治, ひつじ書房）
 [ISBN]9784641183667 『スタディ・スキル入門—大学でしっかりと学ぶために (有斐閣ブックス)』（有斐閣）

■ 関連科目

日本語プレゼンテーション1

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

youxiangli0920@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業の前後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 授業ガイダンス・アンケート調査について

予習内容：シラバスを熟読する。

予習時間：30分

復習内容：シラバス／受講上の注意点をよく理解しておく

復習時間：30分

第2回 グラフや表を説明する1 語彙・表現の学習

予習内容：新しい語彙や表現の意味をしらべておく

予習時間：60分

復習内容：授業中に会った新しい言葉の意味を調べたり、例文を書き写したりして、単語帳を作成し、見返す。

復習時間：30分

第3回 グラフや表を説明する2 発表

予習内容：発表準備

予習時間：60分

復習内容：自分の発表を振り返り、自己評価表に記入すると同時に次回の発表に備えられるようにしておく

復習時間：30分

第4回 アンケート調査1「テーマの決定」

予習内容：自分がどんなテーマでアンケート調査をしたいのか、考えておく。また、興味のあることについて調べておく。

予習時間：60分

復習内容：テーマについてよく熟考し、決定する

復習時間：30分

第5回 アンケート調査2「テーマの目的と質問肢」

予習内容：発表テーマと目的、目的にあった質問肢を考えておく

予習時間：60分

復習内容：授業で意見をもらった事を参考に、調査の目的と質問肢について再度見直す

復習時間：30分

第6回 アンケート調査3 中間発表

予習内容：PPTで調査のテーマ、目的、質問肢をまとめておく

予習時間：60分

復習内容：他の人からもらった意見を参考に、自分の考えた調査テーマ、目的、質問肢を見直し修正を加える

復習時間：30分

第7回 アンケート調査4「アンケート実施」

予習内容：アンケート調査が実施できるように用紙を準備しておく

予習時間：60分

復習内容：アンケートの集計を行う

復習時間：30分

第8回 アンケート調査5「アンケート結果の集計と確認」

予習内容：集計した結果をグラフや表にまとめておく

予習時間：60分

復習内容：授業で得たアドバイスを参考に、作成したグラフや表を見直す

復習時間：30分

第9回 アンケート調査6「アンケートの結果から考察まで」

予習内容：アンケート結果から分ることを考察としてまとめる

予習時間：60分

復習内容：授業で得たアドバイスをもとに、考察を再考し修正を加える

復習時間：30分

第10回 アンケート調査6「アンケート結果 考察からまとめ」

予習内容：考察から言えることをまとめとして、書いておく

予習時間：60分

復習内容：授業で得たアドバイスをもとにまとめを見直し、修正を加えておく

復習時間：30分

第11回 アンケート調査7「発表原稿」の準備

予習内容：発表原稿を準備する

予習時間：90分

復習内容：授業中に得たアドバイスをもとに、準備した発表原稿に訂正・修正を加える

復習時間：60分

第12回 アンケート調査8「グラフを用いた結果の説明の仕方」

予習内容：調査の結果をグラフを使って説明する仕方を書いておく

予習時間：60分

復習内容：授業中に得たアドバイスをもとに、グラフの説明の仕方に訂正、修正を加えておく

復習時間：60分

第13回 アンケート調査9 リハーサル1

予習内容：発表のリハーサルに備えて準備しておく

予習時間：60分

復習内容：リハーサルで反省するべき点、変更するべき点をよく理解し、2回目のリハーサルに備える

復習時間：60分

第14回 アンケート調査 リハーサル2

予習内容：1回目のリハーサルの反省点を生かした発表になるように、よく準備しておく

予習時間：60分

復習内容：2回目のリハーサルで反省するべき点、変更するべき点をよく理解し、本番の発表に備える

復習時間：60分

第15回 最終発表に備えて

予習内容：時間内に要領よく発表できるよう準備しておく

予習時間：60分

復習内容：再度、発表原稿、PPTに修正箇所がないか見直す

復習時間：30分

定期口頭試験

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語作文 1 <薬>				
英文名 :	Japanese Composition 1				
担当者 :	清水 優子				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

日本語の文法を数多く学習し、能力試験や留学試験で高得点をとっている学習者でも、論理的な文章の読み書きができないために、大学での学習に困難を感じていることがあります。本講義では、論理的な文章を読み書きする能力が自然に確実に身につくように、多くの課題を用意しています。積極的に学習する意志のある学生の受講を歓迎します。

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 学習・教育目標及び到達目標

感情や主観をおさえた論述文の書き方の基礎を学びます。

この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること」の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

毎回の課題提出 30%

中間試験（レポート） 30%

定期試験 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に模範答案（印刷物）を配布します。

■ 教科書

[ISBN]9784757426320 『大学・大学院留学生の日本語(2)』（アルク）

■ 参考文献

[ISBN]9784883194889 『小論文への12のステップ—中級日本語学習者対象』（友松 悦子, スリーエーネットワーク）

■ 関連科目

日本語作文2

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

yukoyms@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業終了後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容及び時間

第1回 オリエンテーション

予習内容：予習は必要ありませんが、辞書があるとよいです。

予習時間：30分

復習内容：学習した内容についてまとめておいてください。

復習時間：30分

第2回 表記

予習内容：テキストを購入し、学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文のまちがいを訂正し、次回、再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第3回 文体と書き言葉

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文のまちがいを訂正し、次回、再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第4回 「は」と「が」

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文のまちがいを訂正し、次回、再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第5回 正しい文の構造

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文のまちがいを訂正し、次回、再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第6回 文のつながり

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文のまちがいを訂正し、次回、再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第7回 小論文によく使われる表現

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文のまちがいを訂正し、次回、再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第8回 段落①

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文のまちがいを訂正し、次回、再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第9回 段落②

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文のまちがいを訂正し、次回、再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第10回 テーマを述べる

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文のまちがいを訂正し、次回、再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第11回 要約文を書く①

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文のまちがいを訂正し、次回、再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第12回 要約文を書く②

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文のまちがいを訂正し、次回、再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第13回 理由・経過を述べる

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文のまちがいを訂正し、次回、再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第14回 定義する

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文のまちがいを訂正し、次回、再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第15回 判明していることを述べる

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：今回学習した内容を復習し、定期試験の準備をしてください。

復習時間：60分

定期試験

前期で学習した内容の理解度を確認します。

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語作文 2 <薬>				
英文名 :	Japanese Composition 2				
担当者 :	清水 優子				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

日本語作文1に続いて、引き続き論理的な文章を書く力を身に付ける練習をしていきます。

対面授業とメディア授業等の併用

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 学習・教育目標及び到達目標

感情や主観をおさえた論述文の書き方の基礎を学びます。

この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること」の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

毎回の課題提出 30%

中間試験（レポート） 30%

定期試験 40%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験終了後（試験期間終了後）に模範答案（印刷物）を配布します。

■ 教科書

[ISBN]9784757426320 『大学・大学院留学生の日本語 (2)』（アルク）

■ 参考文献

[ISBN]9784883194889 『小論文への12のステップ—中級日本語学習者対象』（友松 悦子, スリーエーネットワーク）

■ 関連科目

日本語作文1

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

yukoyms@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業終了後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 オリエンテーション

予習内容：予習はいりませんが、辞書を持ってきてください。

予習時間：30分

復習内容：今回学んだ内容をしっかり復習しておいてください。

復習時間：30分

第2回 説明文を書く

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文を訂正し、次回再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第3回 問題点を述べる

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文を訂正し、次回再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第4回 引用する

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文を訂正し、次回再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第5回 解決策を述べる

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文を訂正し、次回再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第6回 手順を述べる

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文を訂正し、次回再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第7回 指示詞を使う

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文を訂正し、次回再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第8回 意見文を書く①

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文を訂正し、次回再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第9回 意見文を書く②

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文を訂正し、次回再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第10回 事実を示す①

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文を訂正し、次回再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第11回 事実を示す②

予習内容：学習内容に目を通しておいてください。

予習時間：30分

復習内容：返却された作文を訂正し、次回再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第12回 小論文を書く①

予習内容：配布資料①を読んで、考えをまとめてきてください。

予習時間：60分

復習内容：返却された小論文を訂正し、次回再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第13回 小論文を書く②

予習内容：配布資料②を読んで、考えをまとめてきてください。

予習時間：60分

復習内容：返却された小論文を訂正し、次回再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第14回 小論文を書く③

予習内容：配布資料③を読んで、考えをまとめてきてください。

予習時間：60分

復習内容：返却された小論文を訂正し、次回再提出できるようにしておいてください。

復習時間：60分

第15回 小論文を書く④

予習内容：配布資料④を読んで、考えをまとめてきてください。

予習時間：60分

復習内容：返却された小論文を訂正、内容をまとめ、定期試験の準備をしてください。

復習時間：60分

期末試験

小論文の要約

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語読解 3 <薬>				
英文名 :	Japanese Reading Comprehension 3				
担当者 :	藤井 和子				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

主に新書（それぞれの専門分野について一般の人向けに比較的わかりやすく書かれた本）や日本の高校の現代文教科書を素材にして読解トレーニングを行う。専門用語、文型、表現に注意しながら著者の意図に迫り、さらに受講生同士で意見を交換することで多様なものの見方を共有できるようにする。

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 学習・教育目標及び到達目標

様々な学問分野の文章に触れ、その内容を理解したり、自分の考えをまとめたりできるようになること。

この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること」の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 70%

授業中の課題 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■ 教科書

プリントを配布 不可能な場合は各自がテキストを購入すること。

■ 参考文献

【[ISBN]9784316203508『現代文B』（教育出版：令和2年）】

■ 関連科目

日本語読解 1, 2, 4

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

初回授業時に指示します。

■ オフィスアワー

授業終了後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス

予習内容：シラバスを熟読してくること。

予習時間：30分

復習内容：自己紹介シートを作成すること。

復習時間：30分

第2回 読むことの楽しみ①

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目について調べてくること。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること。

復習時間：60分

第3回 読むことの楽しみ②

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目について調べてくること。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること。

復習時間：60分

第4回 日常生活を振り返る①

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目について調べてくること。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること。

復習時間：60分

第5回 日常生活を振り返る②

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目について調べてくること。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること。

復習時間：60分

第6回 日本社会の問題をさぐる①

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目について調べてくること。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること。

復習時間：60分

第7回 日本社会の問題をさぐる②

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目について調べてくること。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること。

復習時間：60分

第8回 学問の世界にふれる①

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目について調べてくること。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること。

復習時間：60分

第9回 学問の世界にふれる②

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目について調べてくること。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること。

復習時間：60分

第10回 クリティカルに読む①

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目について調べてくること。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること。

復習時間：60分

第11回 クリティカルに読む②

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目について調べてくること。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること。

復習時間：60分

第12回 速読の技法①

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目について調べてくること。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること。

復習時間：60分

第13回 速読の技法②

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目について調べてくること。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること。

復習時間：60分

第14回 まとめ

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目について調べてくること。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること。

復習時間：60分

第15回 予備日

予習内容：今回の授業テーマに関し、指示した項目について調べてくること。

予習時間：60分

復習内容：授業の中で説明した事柄や出た意見をふまえ、自分の考えをまとめること。

復習時間：60分

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	能力試験対策1 <薬> (平成27~令和元年度入学生用)				
英文名 :	JLPT Preparation 1				
担当者 :	藤井 和子				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

能力試験N1の文法、文字語彙、読解を中心にさまざまな市販の問題集から日本語能力を向上させる問題を厳選し、試験と同じ時間配分で学生が取り組む。その後解答と解説を講師が行う。能力試験が近づくとも模擬試験を行い、試験の本番に緊張しないように慣れておくようにする。能力試験合格後も日本語力に自信を持てるように文法などを勉強する。

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 学習・教育目標及び到達目標

能力試験N1高得点合格。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

小テスト、課題 20%

演習への取り組み 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案（写し）を返却。

■ 教科書

プリントを配布。不可能な場合はテキストとして問題集を選択する。

■ 参考文献

授業中にその都度紹介する。

■ 関連科目

なし

■ 授業評価アンケート実施方法

授業内で行う。

■ 研究室・メールアドレス

研究室なし。fwns1098@gmail.com

■ オフィスアワー

授業後。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

受講生の希望に合わせて、N1の文字語彙、文法、読解の問題をプリントで解く。その後答えあわせを行う。わからない問題に関しては講師が丁寧に解説する。希望があれば適宜聴解も含め模擬試験を行う。

予習内容 : N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間 : 60分

復習内容 : N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

第1回 能力試験合格の心得

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

どうすれば合格するか自己分析から始めよう

第2回 N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第3回 N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第4回 N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第5回 N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第6回 N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第7回 N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第8回 N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第9回 N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第10回 N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第11回 N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第12回 N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第13回 N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第14回 N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第15回 N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

定期試験

文字語彙文法

■ **ホームページ**

■ **実践的な教育内容**

-

科目名 :	能力試験対策2 <薬> (平成27~令和元年度入学生用)				
英文名 :	JLPT Preparation 2				
担当者 :	藤井 和子				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

能力試験N1の文法、文字語彙、読解を中心にさまざまな市販の問題集から日本語能力を向上させる問題を厳選し、試験と同じ時間配分で学生が取り組む。その後解答と解説を講師が行う。能力試験が近づくとも模擬試験を行い、試験の本番に緊張しないように慣れておくようにする。能力試験合格後も日本語力に自信を持てるように文法などを勉強する。

対面授業とメディア授業等の併用

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学習・教育目標及び到達目標

能力試験N1高得点合格。

■ 成績評価方法および基準

定期試験 50%

小テスト、課題 20%

演習への取り組み 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案（写し）を返却。

■ 教科書

受講生の希望に合わせて市販の教材から決定する。

■ 参考文献

授業中にその都度紹介する。

■ 関連科目

なし

■ 授業評価アンケート実施方法

授業内で行う。

■ 研究室・メールアドレス

研究室なし。fwns1098@gmail.com

■ オフィスアワー

授業後。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

受講生の希望に合わせて、N1の文字語彙、文法、読解の問題をプリントで解く。その後答えあわせを行う。わからない問題に関しては講師が丁寧に解説する。希望があれば適宜聴解も含め模擬試験を行う。

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第10回 N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第11回 N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第12回 N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第13回 N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第14回 N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

第15回 N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

予習時間：60分

復習内容：N1の文字語彙、文法、読解の問題

復習時間：60分

N1の文字語彙、文法、読解の問題

定期試験

文字語彙文法

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名 :	初修英語コミュニケーション1 <薬>				
英文名 :	English Communication as a Second Foreign Language 1				
担当者 :	有本 好一郎				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

毎回の授業で語彙の習得、文法演習、リスニング、スピーキングとバランスよく学習し、英語力の向上を図ります。必要があれば基礎文法の再確認、TOEICの演習も行います。

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語・英語の併用

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講学生は授業で学んだことを使い英語の4技能（聞く、話す、読む、書く）でコミュニケーションが取れるようになること。また、積極的にTOEICなどの英語資格試験の目標を持ってチャレンジすること。この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異なる価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること」の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

授業中の課題、クイズ 50%
定期試験 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

ハンドアウト教材

■ 参考文献

辞書を持参すること。

■ 関連科目

初修英語コミュニケーション2

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

21号館2階講師控室
email:kindai2011@yahoo.co.jp

■ オフィスアワー

木曜日4時限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス、TOEICの説明、サンプルクイズ

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。
復習時間：60分
TOEICの試験内容、企業が要求するスコアなどを説明。

第2回 名詞、代名詞

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。
予習時間：60分
復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。
復習時間：60分
クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第3回 be動詞

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。
予習時間：60分
復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。
復習時間：60分
クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第4回 一般動詞

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。
予習時間：60分
復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。
復習時間：60分
クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第5回 助動詞1

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。
予習時間：60分
復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。
復習時間：60分
クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第6回 助動詞2

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。
予習時間：60分
復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。
復習時間：60分
クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第7回 否定文

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。
予習時間：60分
復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。
復習時間：60分
クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第8回 疑問文

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。
予習時間：60分
復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。
復習時間：60分
クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第9回 命令文、感嘆文

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。
予習時間：60分
復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。
復習時間：60分
クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第10回 5文型

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。
予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第11回 時制1

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第12回 時制2

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第13回 進行形

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第14回 受動態1

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第15回 TOEICミニクイズ

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの解説、例文、解答を熟読、不正解の問題を再確認する。

復習時間：60分

ハンドアウト教材で学習、解答確認

定期試験

前期の学習内容から出題。

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	初修英語コミュニケーション2 <薬>				
英文名 :	English Communication as a Second Foreign Language 2				
担当者 :	有本 好一郎				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	2年次	開講期 :	後期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

メディア授業で語彙の習得、文法演習、リスニング、スピーキングとバランスよく学習し、英語力の向上を図ります。必要があれば基礎文法の再確認、TOEICの演習も行います。

対面授業とメディア授業等の併用

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

自主学習支援（e-learning等を活用）

■ 使用言語

日本語・英語の併用

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講学生は授業で学んだことを使い英語の4技能（聞く、話す、読む、書く）でコミュニケーションが取れるようになること。また、積極的にTOEICなどの英語資格試験の目標を持ってチャレンジすること。この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を、身に付けていること」の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

課題提出 50%
課題内容 50%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

ハンドアウト教材

■ 参考文献

辞書を持参すること。

■ 関連科目

初修英語コミュニケーション1

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

21号館2階講師控室
email:kindai2011@yahoo.co.jp

■ オフィスアワー

木曜日4時限

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス、TOEICの説明、サンプルクイズ

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

TOEICの試験内容、企業が要求するスコアなどを説明。

第2回 受動態2

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第3回 不定詞1

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第4回 不定詞2

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第5回 動名詞

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第6回 分詞

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第7回 分詞構文

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第8回 比較1

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第9回 比較2

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第10回 関係詞1

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第11回 関係詞2

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第12回 関係詞3

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第13回 前置詞

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第14回 接続詞

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

クロスワードパズル、文法ハンドアウト、リスニング教材などで学習

第15回 TOEICミニクイズ

予習内容：文法ハンドアウトを読み、解答する。

予習時間：60分

復習内容：文法ハンドアウトの例文、解説、解答を熟読し、不正解問題を再確認する。

復習時間：60分

定期試験

後期の学習内容から出題。

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名 :	日本語会話 3 <薬>				
英文名 :	Conversational Expressions in Japanese 3				
担当者 :	笠松 瑞子				
開講学科 :	外国人特例科目				
単 位 :	1単位	開講年次 :	1~4年次	開講期 :	前期
科目区分 :	外国語科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

これまで勉強してきた敬語の表現を確認するとともに、より高度な表現を学び、それらを色々な場面で適切に使えるようにする。

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

-

■ 使用言語

日本語

■ 学習・教育目標及び到達目標

やや高度な敬語を用いた会話表現の習得。

この科目の修得は、近畿大学の定めるディプロマ・ポリシーの「4. 異質な価値や文化を理解し、自国の伝統や文化の意味を再発見する国際感覚を身に付けること」の達成に関与している。

■ 成績評価方法および基準

授業中の課題 40%

小テスト 30%

試験 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

次の授業時間に課題を返却します。

試験の要点と解説を授業時間内に提示します

■ 教科書

適宜プリントを配布。

■ 参考文献

■ 関連科目

日本語会話1,2,4

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規程に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

kasamatsu@kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業の前後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 ガイダンス / 「訪問」①

予習内容：シラバスを熟読しておく。

予習時間：30分

復習内容：新しく出会った言葉の意味や表現を確認しておく。

復習時間：30分

第2回 「訪問」②

予習内容：配布した資料を読んでおく。

予習時間：60分

復習内容：授業で出会った言葉の意味や表現を確認しておく。

復習時間：30分

第3回 「挨拶」①

予習内容：配布した資料を読んでおく。

予習時間：60分

復習内容：授業で出会った言葉の意味や表現を確認しておく。

復習時間：30分

第4回 「挨拶」②

予習内容：配布した資料を読んでおく。

予習時間：60分

復習内容：授業で出会った言葉の意味や表現を確認しておく。

復習時間：30分

第5回 「誘う」

予習内容：配布した資料を読んでおく。

予習時間：60分

復習内容：授業で出会った言葉の意味や表現を確認しておく。

復習時間：30分

第6回 「予約を受ける」①

予習内容：配布した資料を読んでおく。

予習時間：60分

復習内容：授業で出会った言葉の意味や表現を確認しておく。

復習時間：30分

第7回 「予約を受ける」② / 「サービスの敬語」

予習内容：配布した資料を読んでおく。

予習時間：60分

復習内容：授業で出会った言葉の意味や表現を確認しておく。

復習時間：30分

第8回 小テストA

予習内容：テストの準備をしておく。

予習時間：60分

復習内容：テストでできなかった部分を確認する。

復習時間：30分

第9回 「依頼」①

予習内容：配布した資料を読んでおく。

予習時間：60分

復習内容：授業で出会った言葉の意味や表現を確認しておく。

復習時間：30分

第10回 「依頼」②

予習内容：配布した資料を読んでおく。

予習時間：60分

復習内容：授業で出会った言葉の意味や表現を確認しておく。

復習時間：30分

第11回 「申し出」

予習内容：配布した資料を読んでおく。

予習時間：60分

復習内容：授業で出会った言葉の意味や表現を確認しておく。

復習時間：30分

第12回 「断る」①

予習内容：配布した資料を読んでおく。

予習時間：60分

復習内容：授業で出会った言葉の意味や表現を確認しておく。

復習時間：30分

第13回 「断る」② / 「おわび」

予習内容：配布した資料を読んでおく。

予習時間：60分

復習内容：授業で出会った言葉の意味や表現を確認しておく。

復習時間：30分

第14回 小テストB

予習内容：テストの準備をしておく。

予習時間：60分

復習内容：テストでできなかった部分を確認しておく。

復習時間：30分

第15回 総復習（訪問・挨拶・誘う・予約・依頼・申し出・断る）

予習内容：今までに習った言葉や表現で分からないものはないか確認しておく。

予習時間：60分

復習内容：今までに習った言葉や表現を確認しておく。

復習時間：30分

定期試験

■ホームページ

■実践的な教育内容

-

科目名	プロジェクトワーク1 <薬> (令和2~3年度入学生用)				
英文名	Presentaion in Japanese 1				
担当者	河崎 絵美				
開講学科	外国人特例科目				
単 位	1単位	開講年次	1~4年次	開講期	前期
科目区分	外国語科目				
備 考					

■ 授業概要・方法等

生活上の問題、友人間で起こる問題、アルバイトや大学生活で起こる問題、進学や就職などの悩みなどの身近な問題についてクラスメートや教員と話し合いながら問題解決能力を養います。授業では教科書に出てくるケースを読み、それについて「私ならどうするか」を考え、クラスメートに自分の意見を伝える、他の人の意見を聞くことを大切にします。クラスで協働的に学び、日本語運用力の向上を目指します。その具体的な活動としては、ディスカッションの他に話し合いの内容をまとめたり、小レポートの作成、発表なども行います。

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学習・教育目標及び到達目標

自分の考えや意見が積極的に発言できる。他の人の意見を聞き、自分なりの考えを持つことができる。
主体的に考え、協働的に学ぶ機械を通し、問題解決能力と日本語運用能力の更なる向上を目指すことができる。

■ 成績評価方法および基準

授業中課題 70%
定期試験 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案およびコメントを返却します。
試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784904595770 『留学生のためのケースで学ぶ日本語：問題発見解決能力を伸ばす』（江後 千香子, ココ出版：2016)

■ 参考文献

[ISBN]9784757430891 『考える・理解する・伝える力が身につく 日本語ロジカルトレーニング 中級』（俊哉, 西隈, アルク：2018)
[ISBN]9784874244470 『上級へのとびら —コンテンツとマルチメディアで学ぶ日本語:TOBIRA Gateway to Advanced Japanese Learning Through Content and Multimedia』（岡 まゆみ, くろしお出版：2009)
[ISBN]9784327384746 『テーマ別 上級で学ぶ日本語〈三訂版〉』（松田 浩志, 研究社：2016)

■ 関連科目

プロジェクトワーク2

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

emi.kawasaki@lac.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

授業後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 第1回 オリエンテーション

予習内容：シラバスをよく読み、授業内容を理解する

予習時間：30分

復習内容：第2回目の授業課題を準備する

復習時間：30分

授業の進め方や教科書の使い方、評価や定期試験などについて説明します。

第2回目の授業課題について説明します。

第2回 発表

予習内容：発表の練習をする

予習時間：30分

復習内容：発表方法について振り返りを各自で行う

復習時間：30分

第1回目で指示した項目をもとに、1人ずつ発表をします。

第3回 第1章 暮らし

(ケース1-8 ①)

予習内容：教科書の第1章に目を通しておく

予習時間：60分

復習内容：話し合いの内容や意見を振り返る

復習時間：30分

教科書のどのケースを読むかクラスで相談して決めます。

決まったケースを各自でよみ、小グループで話し合いをします。

グループ同士の話し合いをします。

小レポートを作成し、提出します。

第4回 第1章 暮らし

(ケース1-8 ②)

予習内容：教科書を読み、本文の質問に答える

予習時間：60分

復習内容：小レポートの内容を整理し、完成させる

復習時間：30分

第3回目の授業で決まったケースを各自でよみ、小グループで話し合いをします。

グループ同士の話し合いをします。小レポートを作成し、提出します。

予習内容：教科書を読み、本文の質問に答える(60分)

復習内容：小レポートの内容を整理し、完成させる。(30分)

第5回 第1章 暮らし

(ケース1-8 ③)

予習内容：本文を読み、質問に答える

予習時間：60分

復習内容：小レポートの内容を整理し、完成させる

復習時間：30分

第3回目の授業で決まったケースを各自でよみ、小グループで話し合いをします。

グループ同士の話し合いをします。小レポートを作成し、提出します。

第6回 第1章 暮らし

(発表)

予習内容：発表の準備をする

予習時間：60分

復習内容：感想文を提出する

復習時間：30分

授業で扱ったケースを参考に、自分の体験について話す。

これまでにテーマに沿った経験がない場合、教科書の例に対する意見を、自分なりの解決方法として提案をする。

第7回 第2章 ともだち

(ケース9-16 ①)

予習内容：第2章に目を通しておく

予習時間：60分

復習内容：小レポートを提出する

復習時間：30分

教科書のどのケースを読むかクラスで相談して決めます。

決まったケースを各自でよみ、小グループで話し合いをします。

グループ同士の話し合いをします。

小レポートを作成し、提出します。

第8回 第2章 友だち

(ケース9-16 ②)

予習内容：本文を読み、質問に答える

予習時間：60分

復習内容：小レポートを提出する

復習時間：30分

第7回目の授業で決まったケースを各自でよみ、小グループで話し合いをします。

グループ同士の話し合いをします。

小レポートを作成し、提出します

第9回 第2章 友だち

(ケース9-16 ③)

予習内容：本文を読み、質問に答える

予習時間：60分

復習内容：小レポートを提出する

復習時間：30分

第7回目の授業で決まったケースを各自でよみ、小グループで話し合いをします。

グループ同士の話し合いをします。

小レポートを作成し、提出します

第10回 第2章 友だち

(発表)

予習内容：発表の準備をする

予習時間：60分

復習内容：感想文を提出する

復習時間：30分

授業で扱ったケースを参考に、自分の体験について話す。

これまでにテーマに沿った経験がない場合、教科書の例に対する意見を、自分なりの解決方法として提案をする。

第11回 第3章 アルバイト

(ケース17-21 ①)

予習内容：第3章に目を通しておく

予習時間：60分

復習内容：小レポートを提出する

復習時間：30分

教科書のどのケースを読むかクラスで相談して決めます。

決まったケースを各自でよみ、小グループで話し合いをします。

グループ同士の話し合いをします。

小レポートを作成し、提出します。

第12回 第3章 アルバイト

(ケース17-21 ②)

予習内容：本文を読み、質問に答える

予習時間：60分

復習内容：小レポートを提出する

復習時間：30分

第11回目の授業で決まったケースを各自でよみ、小グループで話し合いをします。

グループ同士の話し合いをします。

小レポートを作成し、提出します。

第13回 第3章 アルバイト

(ケース17-21 ③)

予習内容：本文を読み、質問に答える

予習時間：60分

復習内容：小レポートを提出する

復習時間：30分

第11回目で決まったケースを各自でよみ、小グループで話し合いをします。

グループ同士の話し合いをします。

小レポートを作成し、提出します。

第14回 第3章 アルバイト

(発表)

予習内容：発表の準備をする

予習時間：60分

復習内容：感想文を提出する

復習時間：30分

授業で扱ったケースを参考に、自分の体験について話す。

これまでにテーマに沿った経験がない場合、教科書の例に対する意見を、自分なりの解決方法として提案をする。

第15回 まとめ

予習内容：第1章から第3章までの振り返りをする

予習時間：30分

復習内容：感想文を提出する

復習時間：30分

「くらし」「友だち」「アルバイト」のケースを扱う中で、自分自身の考え方やと捉え方にどのような変化が生じたかについて振り返りを行います。

定期試験

論述試験

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-

科目名	プロジェクトワーク2 <薬> (令和2~3年度入学生用)				
英文名	Presentaion in Japanese 2				
担当者	原澤 尚輝				
開講学科	外国人特例科目				
単 位	1単位	開講年次	1~4年次	開講期	後期
科目区分	外国語科目				
備考					
必修選択の別	選択科目				

■ 授業概要・方法等

生活上の問題、友人間で起こる問題、アルバイトや大学生活で起こる問題、進学や就職などの悩みなどの身近な問題についてクラスメートや教員と話し合いながら問題解決能力を養います。授業では教科書に出てくるケースを読み、それについて「私ならどうするか」を考え、クラスメートに自分の意見を伝える、他の人の意見を聞くことを大切にします。クラスで協働的に学び、日本語運用力の向上を目指します。その具体的な活動としては、ディスカッションの他に話し合いの内容をまとめたり、小レポートの作成、発表なども行います。

対面授業とメディア授業等の併用

■ 授業形態

■ アクティブ・ラーニングの形態

■ ICTを活用したアクティブ・ラーニング

双方向授業（クリッカーや、学生ディスカッション用にGoogleClassroom等を活用）

■ 使用言語

日本語

■ 学習・教育目標及び到達目標

自分の考えや意見が積極的に発言できる。他の人の意見を聞き、自分なりの考えを持つことができる。
主体的に考え、協働的に学ぶ機械を通し、問題解決能力と日本語運用能力の更なる向上を目指すことができる。
日本人の話す自然な口語表現を用いてプレゼンテーションなど発表をすることができる。

■ 成績評価方法および基準

授業中課題 70%

定期試験 30%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

翌回の授業時間に答案およびコメントを返却します。
試験の要点と解説をUNIVERSAL PASSPORTに掲載します。

■ 教科書

[ISBN]9784904595770 『留学生のためのケースで学ぶ日本語：問題発見解決能力を伸ばす』（江後 千香子，ココ出版：2016）

■ 参考文献

[ISBN]9784757430891 『考える・理解する・伝える力が身につく 日本語ロジカルトレーニング 中級』（俊哉，西隈，アルク：2018）

[ISBN]9784874244470 『上級へのとびら —コンテンツとマルチメディアで学ぶ日本語：TOBIRA Gateway to Advanced Japanese Learning Through Content and Multimedia』（岡 まゆみ，くろしお出版：2009）

[ISBN]9784327384746 『テーマ別 上級で学ぶ日本語〈三訂版〉』（松田 浩志，研究社：2016）

■ 関連科目

プロジェクトワーク1

■ 授業評価アンケート実施方法

学部実施規定に準拠して行う

■ 研究室・メールアドレス

■ オフィスアワー

授業後

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 第4章 大学生生活 (ケース22)

予習内容：シラバスをよく読み、授業内容を理解する

予習時間：30分

復習内容：授業時の意見を振り返る

復習時間：30分

本文を読み、質問に答える。各自質問の答えをクラスメイトと共有し、理解を深める。その後、自分の意見を発表する。

第2回 第4章 大学生生活 (ケース23-24)

予習内容：本文の質問に答える

予習時間：60分

復習内容：小レポートを作成し、提出する

復習時間：30分

本文の質問に対する答えをクラスメイトと共有し、理解を深めます。グループで話し合い、クラスで意見を共有します。この活動に関する自分なりの意見を小レポートで提出します。

第3回 第4章 大学生生活 (ケース25)

予習内容：教科書を読み、質問に答える

予習時間：60分

復習内容：話し合いの内容や意見を振り返る

復習時間：30分

本文の質問に対する答えをクラスメイトと共有し、理解を深めます。グループで話し合い、クラスで意見を共有します。この活動に関する自分なりの意見を小レポートで提出します。

第4回 第4章 大学生生活 (ケース26-27)

予習内容：教科書を読み、本文の質問に答える

予習時間：60分

復習内容：小レポートの内容を整理し、完成させる

復習時間：30分

本文の質問に対する答えをクラスメイトと共有し、理解を深めます。グループで話し合い、クラスで意見を共有します。この活動に関する自分なりの意見を小レポートで提出します。

第5回 第4章 大学生生活 (ケース28)

予習内容：本文を読み、質問に答える

予習時間：60分

復習内容：小レポートの内容を整理し、完成させる

復習時間：30分

本文の質問に対する答えをクラスメイトと共有し、理解を深めます。グループで話し合い、クラスで意見を共有します。この活動に関する自分なりの意見を小レポートで提出します。

第6回 第4章 大学生生活 (ケース29)

予習内容：教科書を読み、質問に答える

予習時間：60分

復習内容：小レポートを作成し、提出する

復習時間：30分

本文の質問に対する答えをクラスメイトと共有し、理解を深めます。グループで話し合い、クラスで意見を共有します。この活動に関する自分なりの意見を小レポートで提出します。

第7回 第4章 大学生生活 (ケース30-31)

予習内容：教科書を読み、質問に答える

予習時間：60分

復習内容：小レポートを提出する

復習時間：30分

本文の質問に対する答えをクラスメイトと共有し、理解を深めます。グループで話し合い、クラスで意見を共有します。この活動に関する自分なりの意見を小レポートで提出します。

第8回 第4章 大学生生活

(ケース32-34)

予習内容：本文を読み、質問に答える

予習時間：60分

復習内容：小レポートを提出する

復習時間：30分

どこを読むかは皆で相談して決めます。

決まったケースを各自でよみ、小グループで話し合いをします。

グループ同士の話し合いをします。

小レポートを作成し、提出します

第9回 第5章 将来と仕事

(ケース35)

予習内容：本文を読み、質問に答える

予習時間：60分

復習内容：小レポートを提出する

復習時間：30分

グループ同士の話し合いをします。

自分の経験や考えを発表します。

小レポートを作成し、提出します。

第10回 第5章 将来と仕事

(ケース36)

予習内容：教科書を読み、質問に答える

予習時間：60分

復習内容：小レポートを提出する

復習時間：30分

グループ同士の話し合いをします。

自分の経験や考えを発表します。

小レポートを作成し、提出します。

第11回 第5章 将来と仕事

(ケース37)

予習内容：教科書を読み、質問に答える

予習時間：60分

復習内容：小レポートを提出する

復習時間：30分

グループ同士の話し合いをします。

自分の経験や考えを発表します。

小レポートを作成し、提出します。

第12回 第5章 将来と仕事

(ケース38)

予習内容：本文を読み、質問に答える

予習時間：60分

復習内容：小レポートを提出する

復習時間：30分

グループ同士の話し合いをします。

自分の経験や考えを発表します。

小レポートを作成し、提出します。

第13回 第5章 将来と仕事

(ケース39)

予習内容：本文を読み、質問に答える

予習時間：60分

復習内容：小レポートを提出する

復習時間：30分

グループ同士の話し合いをします。

自分の経験や考えを発表します。

小レポートを作成し、提出します。

第14回 第5章 将来と仕事

(ケース40)

予習内容：教科書を読み、質問に答える

予習時間：60分

復習内容：小レポートを提出する

復習時間：30分

グループ同士の話し合いをします。

自分の経験や考えを発表します。

小レポートを作成し、提出します。

第15回 まとめ

予習内容：発表準備をする

予習時間：60分

復習内容：感想文を提出する

復習時間：30分

授業で扱ったケースを参考に、自分の体験について話す。

これまでにテーマに沿った経験がない場合、教科書の例に対する意見を、自分なりの解決方法として提案をする。

定期試験

論述試験

■ ホームページ

■ 実践的な教育内容

-